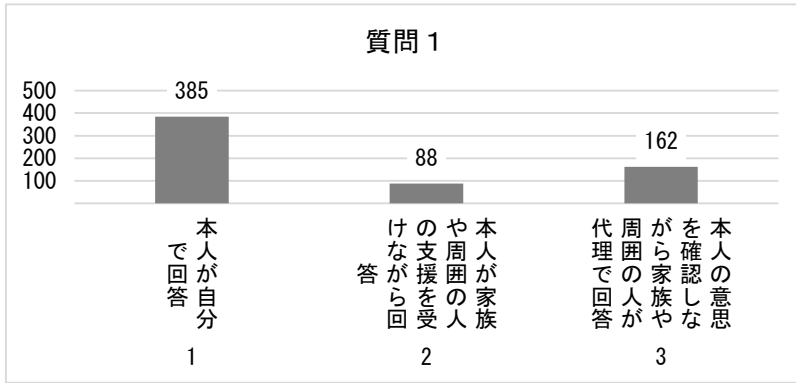


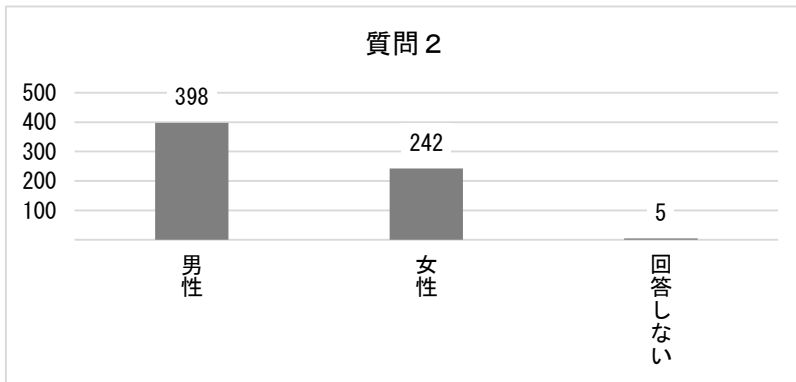
質問1 このアンケートに回答する人、回答方法を、次の1～3の中から1つ選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 本人が自分で回答	385
2 本人が家族や周囲の人の支援を受けながら回答	88
3 本人の意思を確認しながら家族や周囲の人が代理で回答	162



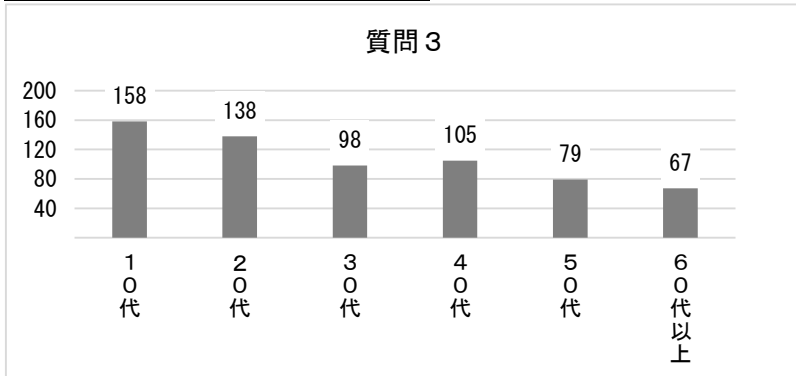
質問2 あなたの性別を次の1～3の中から1つ選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 男性	398
2 女性	242
3 回答しない	5



質問3 あなたの年齢を次の1～6の中から1つ選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 10代	158
2 20代	138
3 30代	98
4 40代	105
5 50代	79
6 60代以上	67

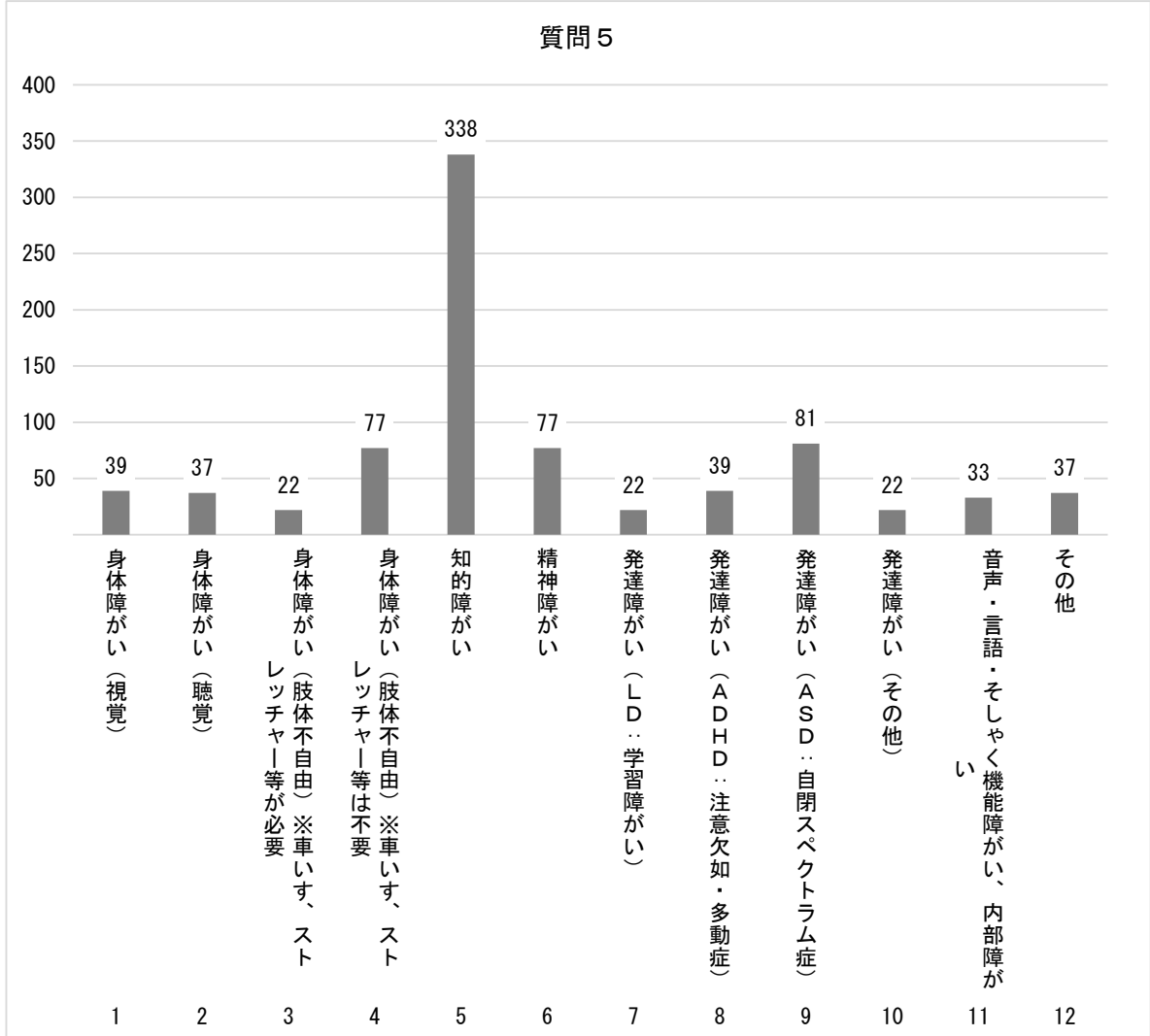




質問5

あなたの障がいの種類について、次の1～12の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

項目	回答数	属性別
1 身体障がい（視覚）	39	1 身体（視覚）
2 身体障がい（聴覚）	37	2 身体（聴覚）
3 身体障がい（肢体不自由）※車いす、ストレッチャー等が必要	22	3 身体（肢体不自由）
4 身体障がい（肢体不自由）※車いす、ストレッチャー等は不要	77	
5 知的障がい	338	4 知的
6 精神障がい	77	5 精神
7 発達障がい（LD：学習障がい）	22	6 発達
8 発達障がい（ADHD：注意欠如・多動症）	39	
9 発達障がい（ASD：自閉スペクトラム症）	81	
10 発達障がい（その他）	22	
11 音声・言語・そしゃく機能障がい、内部障がい	33	7 その他
12 その他	37	



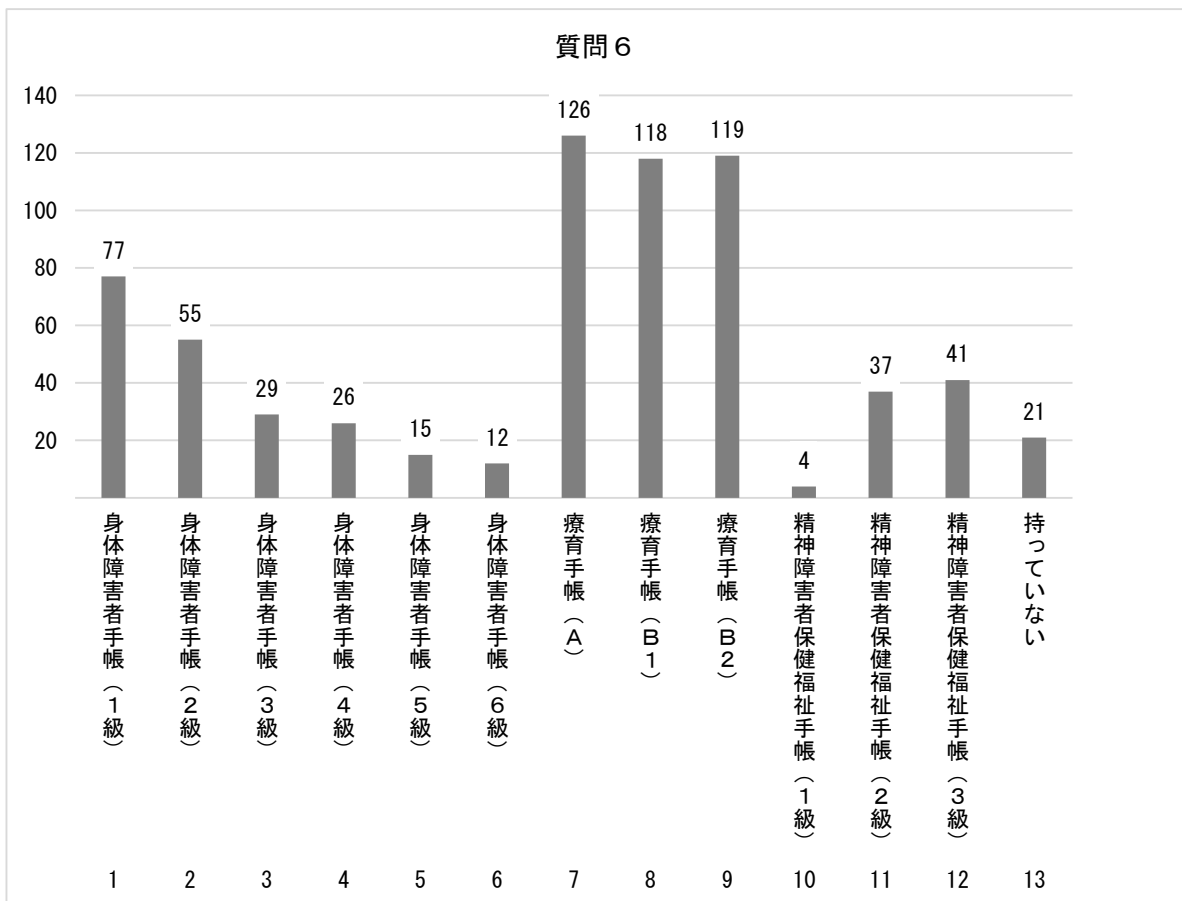
【「その他」に記載のあったのおもな回答】

- ・腎機能障害
- ・PTSD
- ・心臓疾患
- ・筋ジストロフィー
- ・呼吸機能障害
- ・体幹機能障害
- ・てんかん
- ・吃音 など

質問6

あなたが持っている障害者手帳について、次の1～13の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

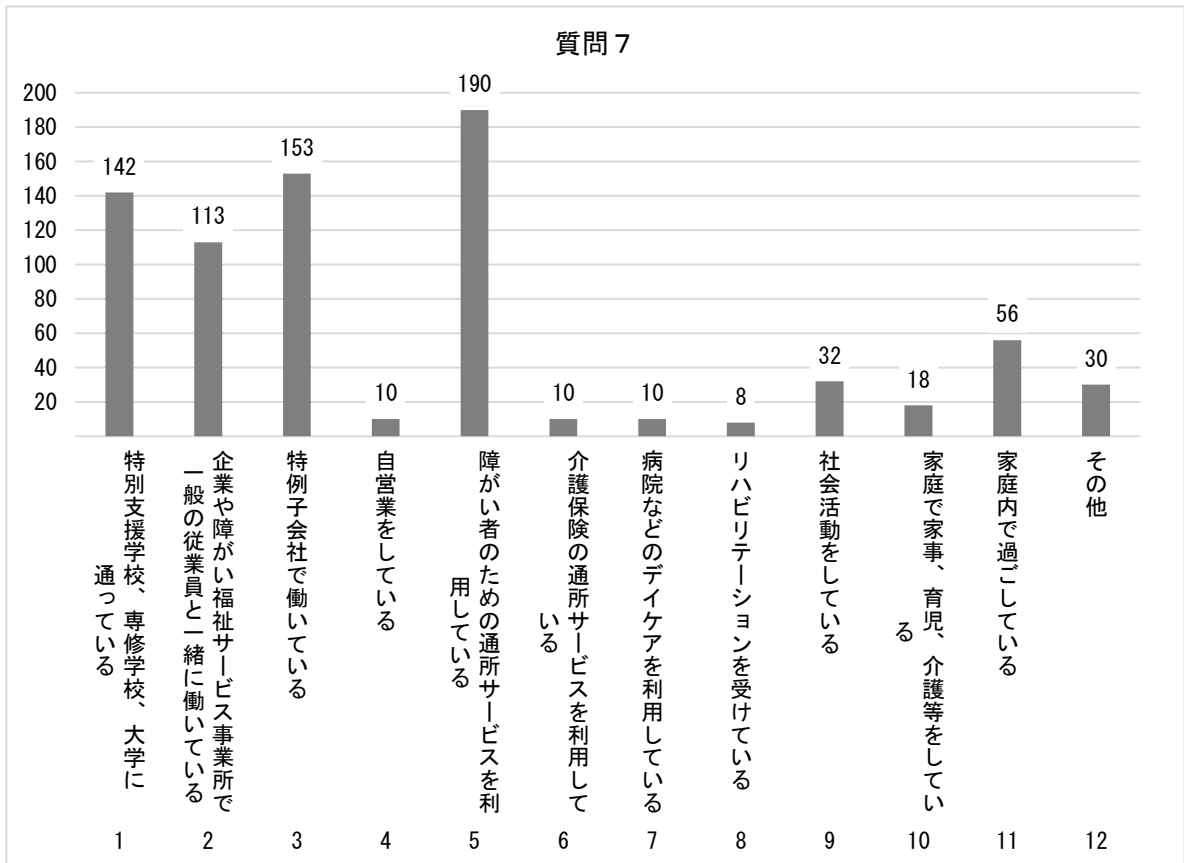
項目	回答数
1 身体障害者手帳（1級）	77
2 身体障害者手帳（2級）	55
3 身体障害者手帳（3級）	29
4 身体障害者手帳（4級）	26
5 身体障害者手帳（5級）	15
6 身体障害者手帳（6級）	12
7 療育手帳（A）	126
8 療育手帳（B1）	118
9 療育手帳（B2）	119
10 精神障害者保健福祉手帳（1級）	4
11 精神障害者保健福祉手帳（2級）	37
12 精神障害者保健福祉手帳（3級）	41
13 持っていない	21



質問7

あなたは、日中、おもにどのような活動をしていますか。  
1～12の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

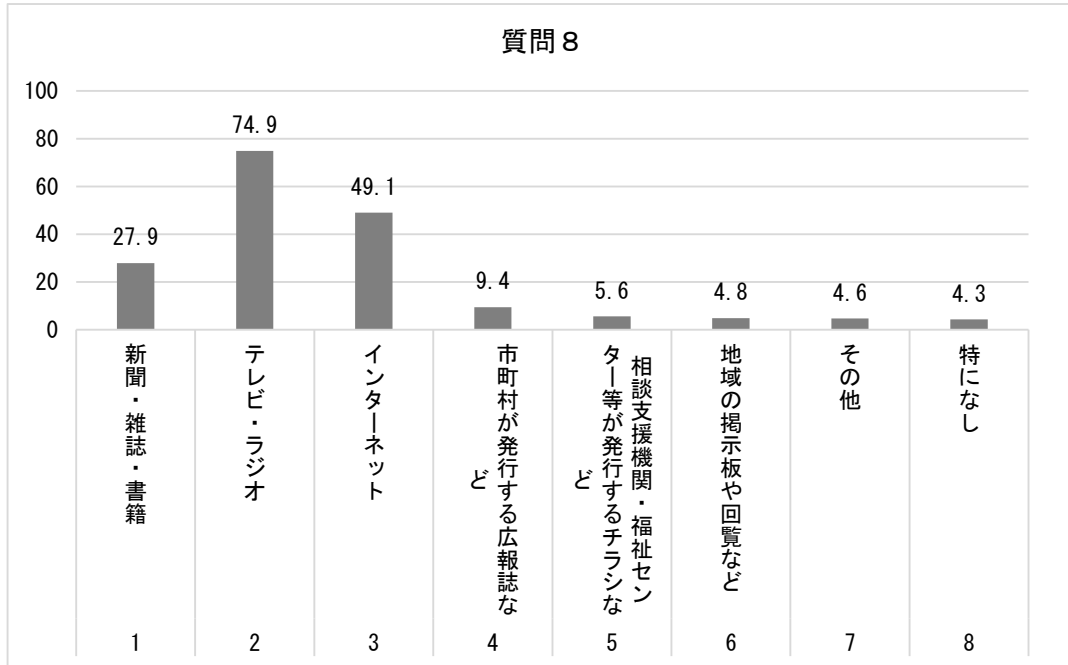
項目	回答数
1 特別支援学校、専修学校、大学に通っている	142
2 企業や障がい福祉サービス事業所で一般の従業員と一緒に働いている	113
3 特例子会社で働いている	153
4 自営業をしている	10
5 障がい者のための通所サービスを利用している	190
6 介護保険の通所サービスを利用している	10
7 病院などのデイケアを利用している	10
8 リハビリテーションを受けている	8
9 社会活動をしている	32
10 家庭で家事、育児、介護等をしている	18
11 家庭内で過ごしている	56
12 その他	30



質問 8

あなたは、日頃、さまざまな情報を、何を使って得ていますか。  
1～8の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 新聞・雑誌・書籍	180
2 テレビ・ラジオ	484
3 インターネット	317
4 市町村が発行する広報誌など	61
5 相談支援機関・福祉センター等が発行するチラシなど	36
6 地域の掲示板や回覧など	31
7 その他	30
8 特になし	28



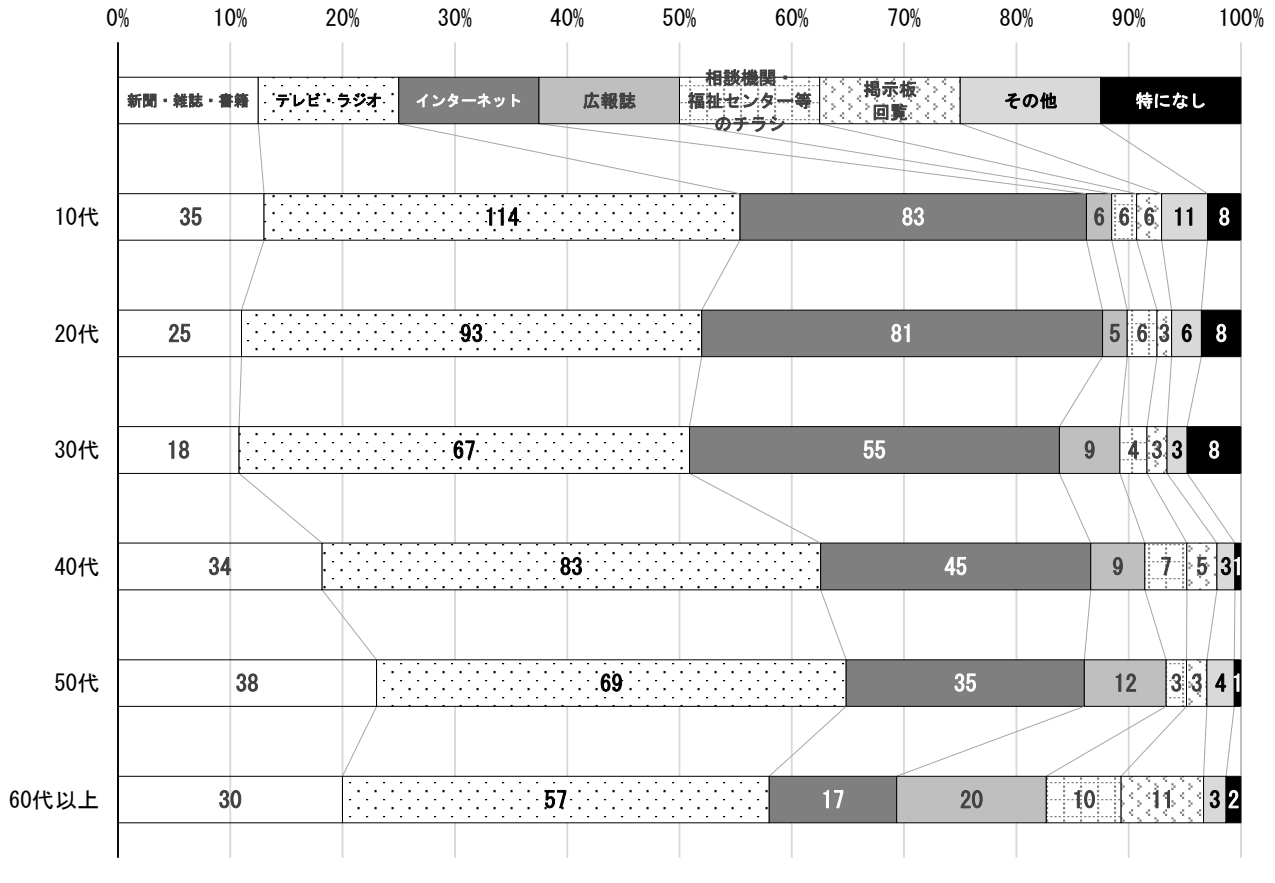
※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位％）

【「その他」に記載のあったのおもな回答】

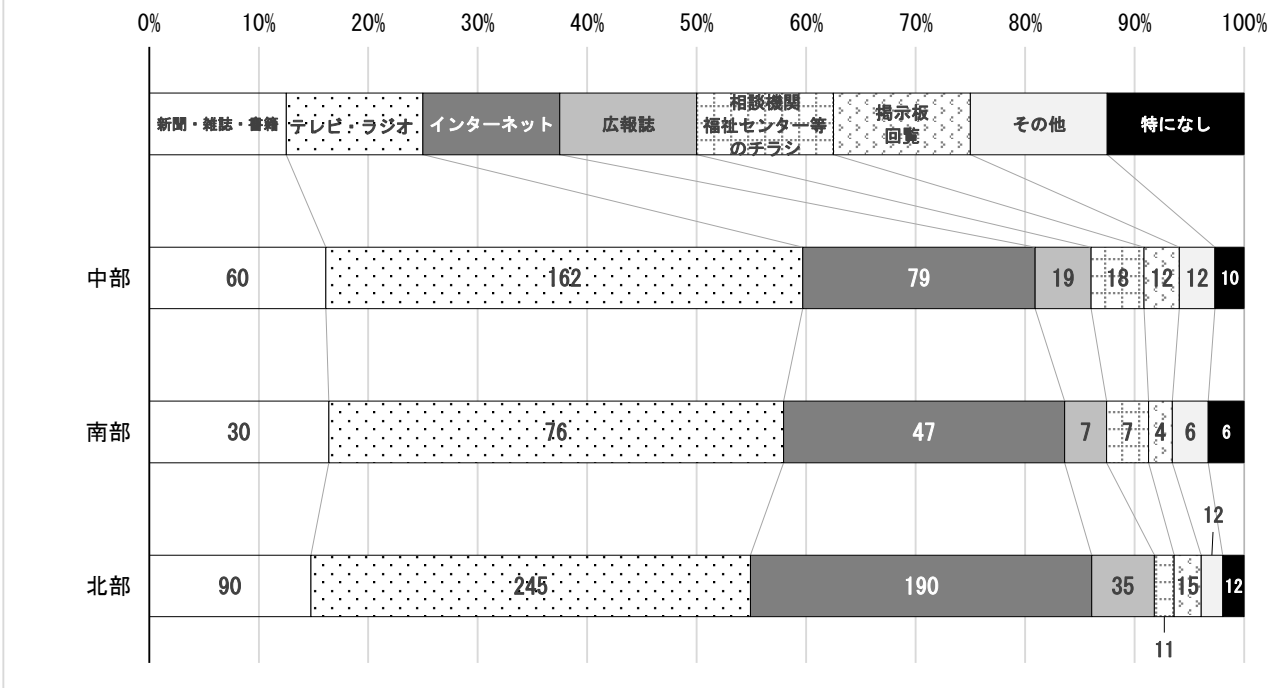
- ・ CDによる回覧
- ・ 点字情報
- ・ 医療社団法人発行の情報誌
- ・ 病院の掲示板
- ・ 点字新聞
- ・ 小説

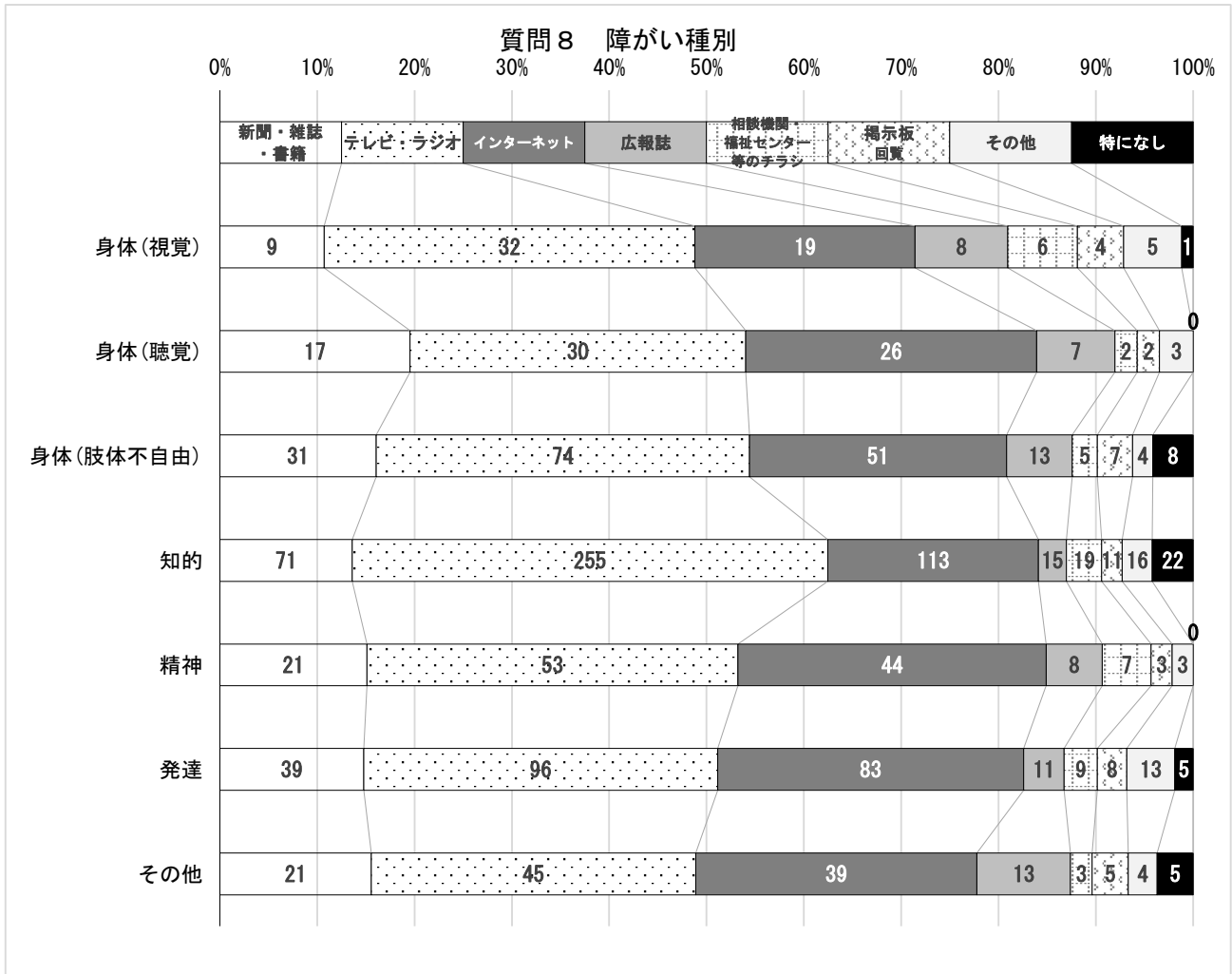
・ 日頃触れている情報源（メディア・施設等）は、「テレビ」（74.9%）、「インターネット」（49.1%）、「新聞・雑誌・書籍」（27.9%）の順に多い。

質問 8 年代別



質問 8 居住地別



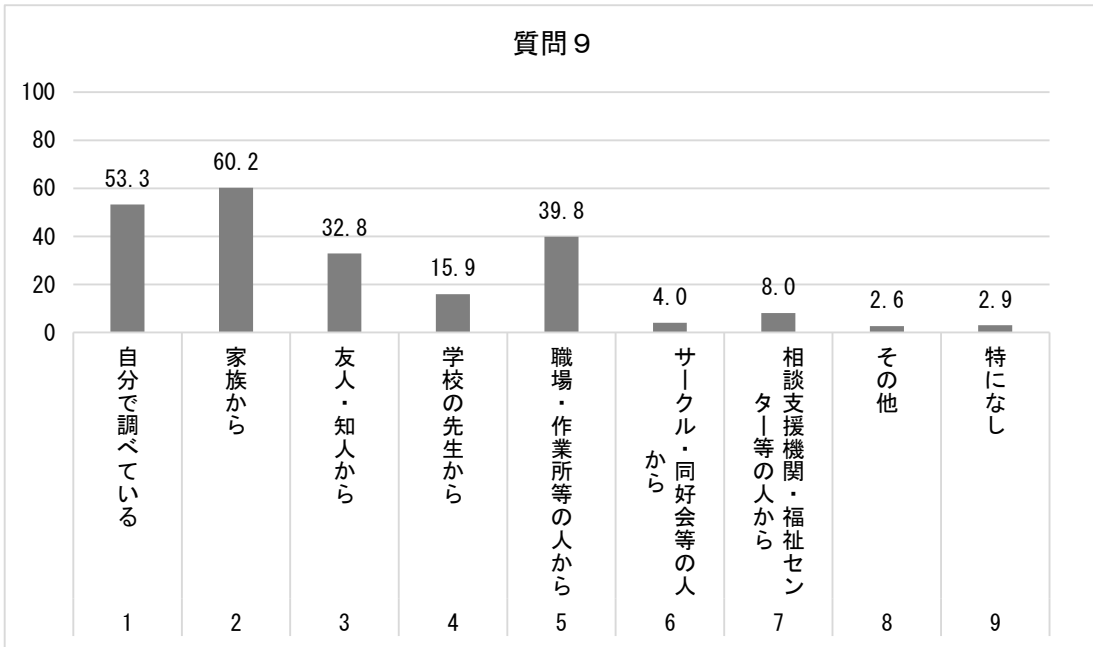




質問9

あなたは、日頃、さまざまな情報を、誰から聞くことが多いですか。  
1～9の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 自分で調べている	344
2 家族から	389
3 友人・知人から	212
4 学校の先生から	103
5 職場・作業所等の人から	257
6 サークル・同好会等の人から	26
7 相談支援機関・福祉センター等の人から	52
8 その他	17
9 特になし	19



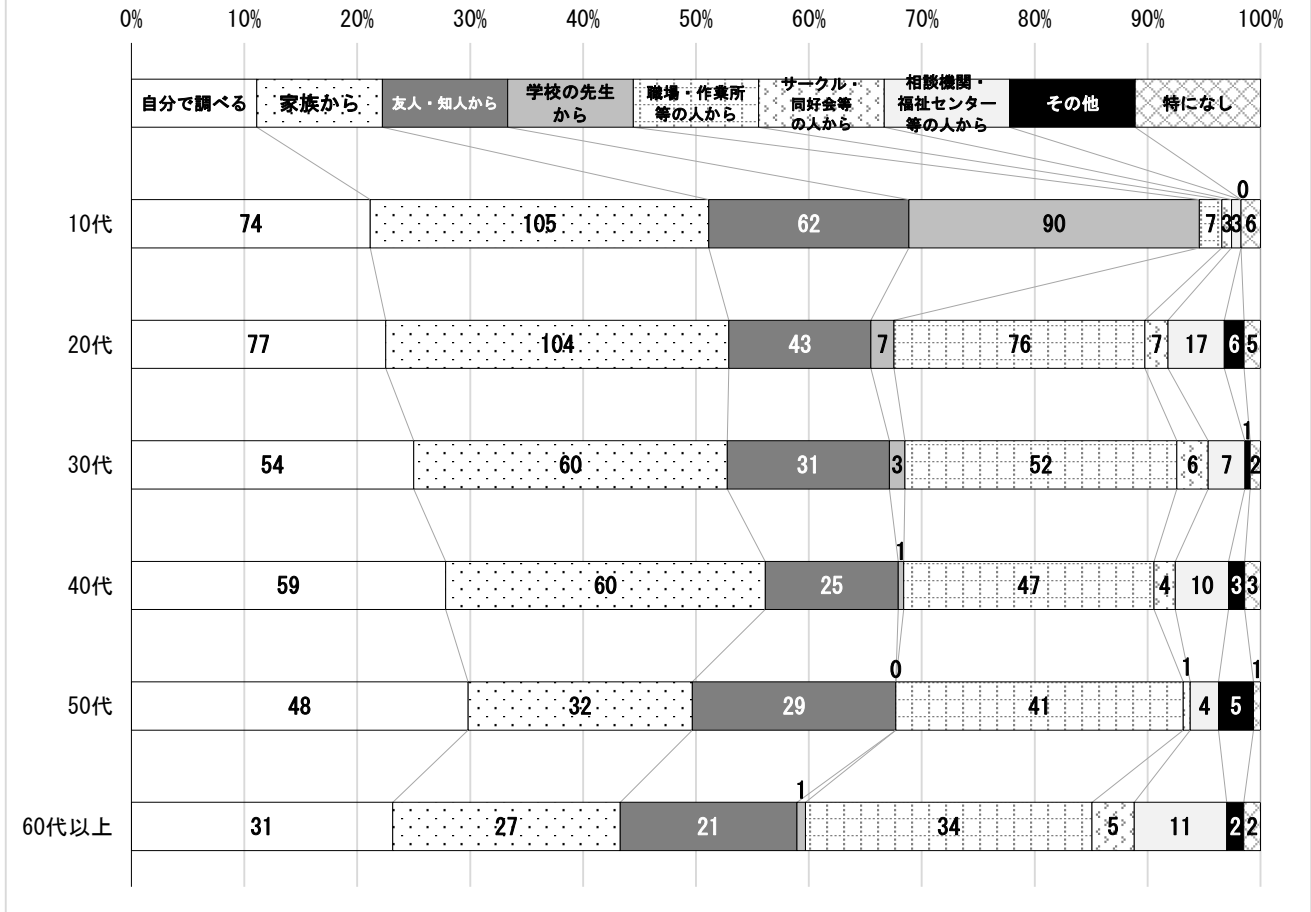
※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位%）

【「その他」に記載のあったのおもな回答】

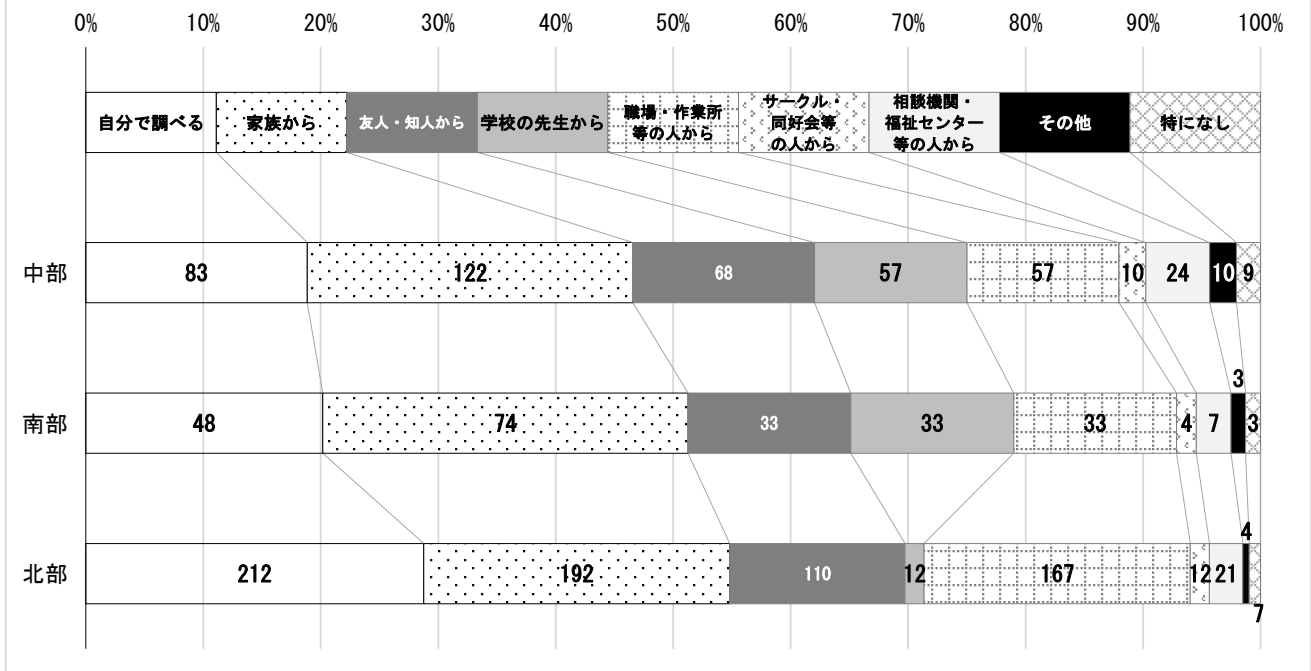
- ・ 医師から
- ・ ソーシャルワーカーから
- ・ 世話人から
- ・ グループホームの共同生活者から
- ・ 近所の人から

・ 日頃触れている情報源（人的リソース）は、「家族」（60.2%）、「自分で調べている」（53.3%）、「職場・作業所等の人」（39.8%）、「友人・知人」（32.8%）の順に多い。

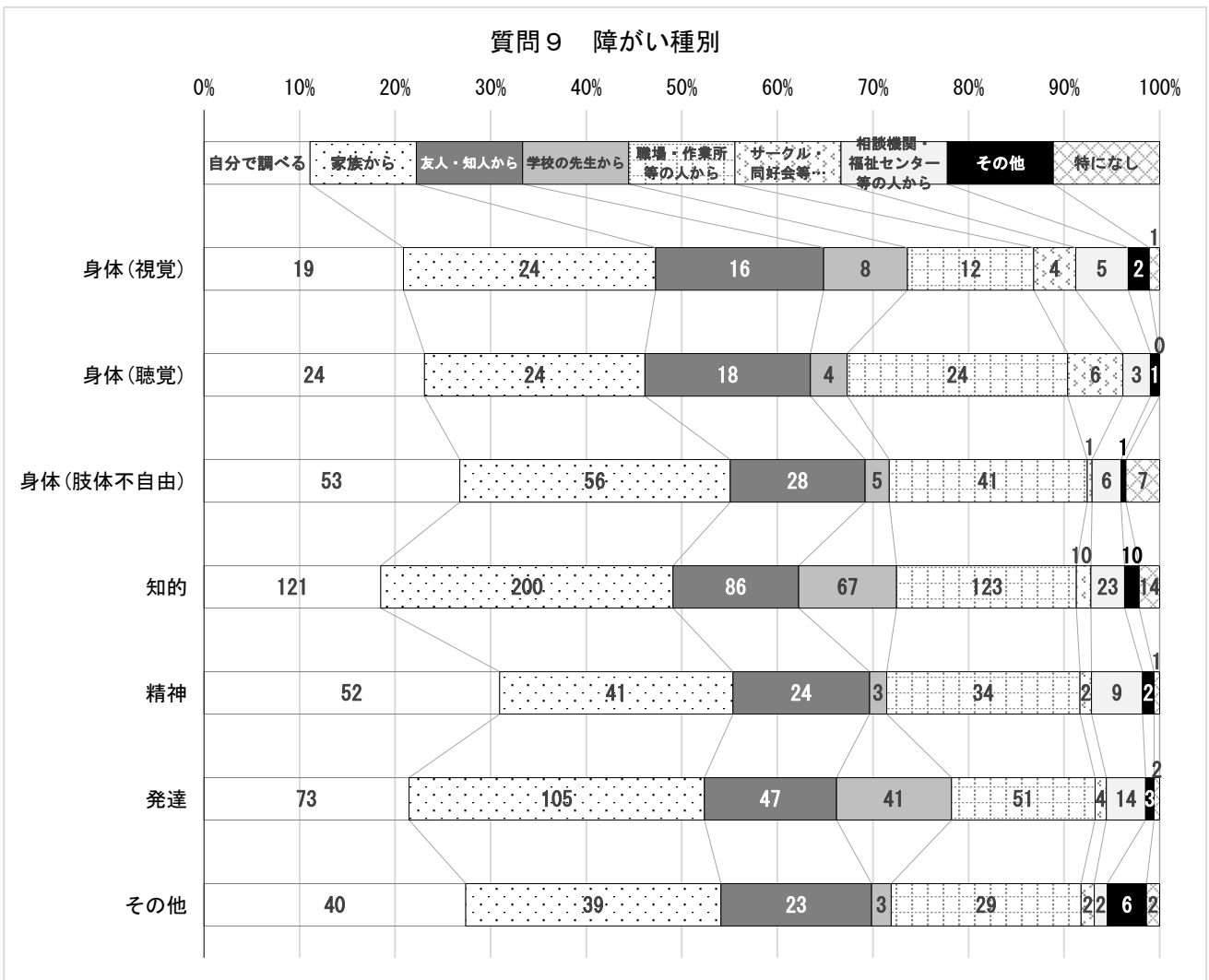
質問9 年代別



質問9 居住地別



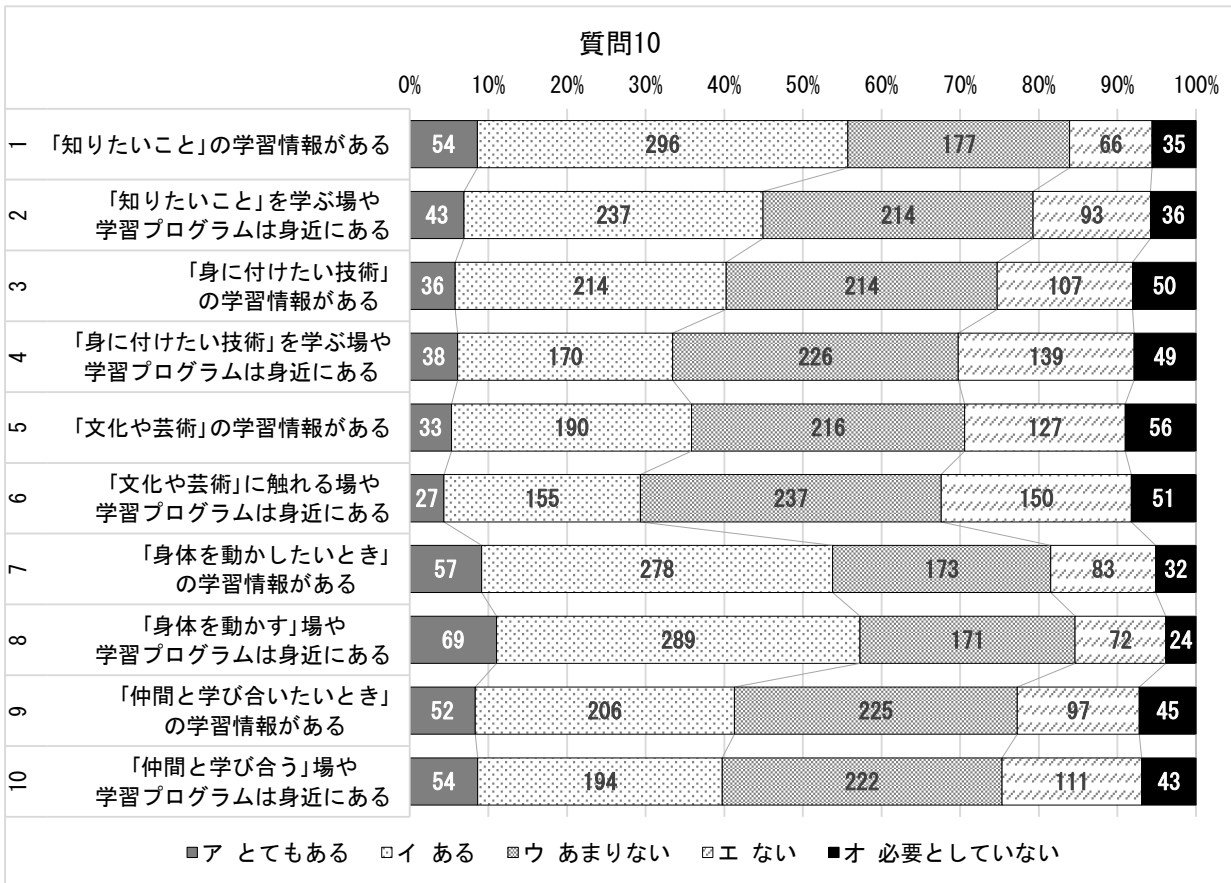
質問9 障がい種別



質問10

あなたが以下のようなことを学びたいと思ったとき、その情報や機会は身近にあると思いますか。  
1～10のそれぞれの項目について、ア～オの中から最もよくあてはまるものを1つ選び、「○」を記入してください。

	ア とてもある	イ ある	ウ あまりない	エ ない	オ 必要としていない
1 「知りたいこと」の学習情報がある	54	296	177	66	35
2 「知りたいこと」を学ぶ場や学習プログラムは身近にある	43	237	214	93	36
3 「身に付けたい技術」の学習情報がある	36	214	214	107	50
4 「身に付けたい技術」を学ぶ場や学習プログラムは身近にある	38	170	226	139	49
5 「文化や芸術」の学習情報がある	33	190	216	127	56
6 「文化や芸術」に触れる場や学習プログラムは身近にある	27	155	237	150	51
7 「身体を動かしたいとき」の学習情報がある	57	278	173	83	32
8 「身体を動かす」場や学習プログラムは身近にある	69	289	171	72	24
9 「仲間と学び合いたいとき」の学習情報がある	52	206	225	97	45
10 「仲間と学び合う」場や学習プログラムは身近にある	54	194	222	111	43



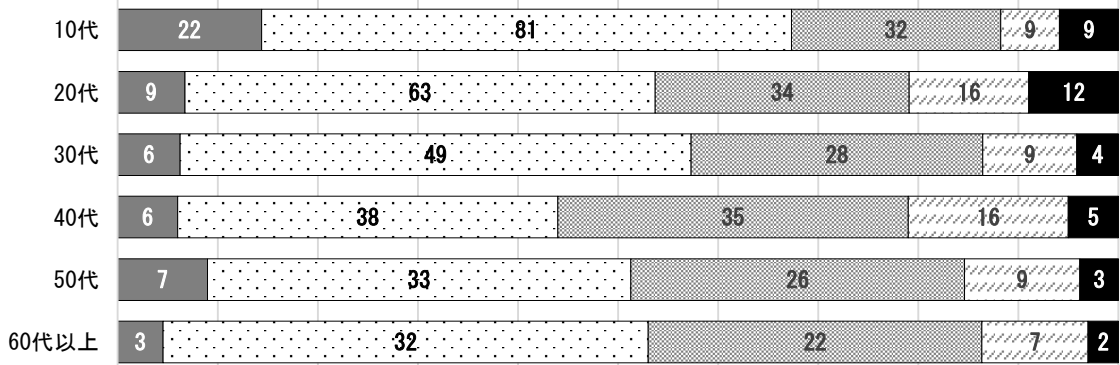
- ・ 学習情報については、「知りたいこと」(55.7%)、「身体を動かしたいとき」(53.8%)が「とてもある」「ある」と感じている。
- ・ 学びの場や学習プログラムについては、「身体を動かす」(57.3%)のみが、「とてもある」「ある」の合計が50%を上回っており、他の項目は「あまりない」「ない」の割合が高い。
- ・ 「文化や芸術」については、学習情報、場やプログラムともに「あまりない」「ない」の割合が他の項目に比べて高い。

質問10 年代別

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

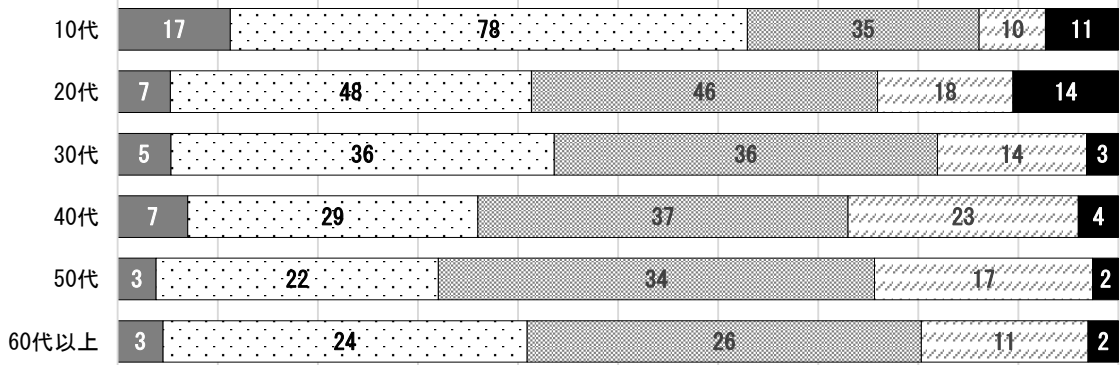
1

「知りたいこと」の  
学習情報



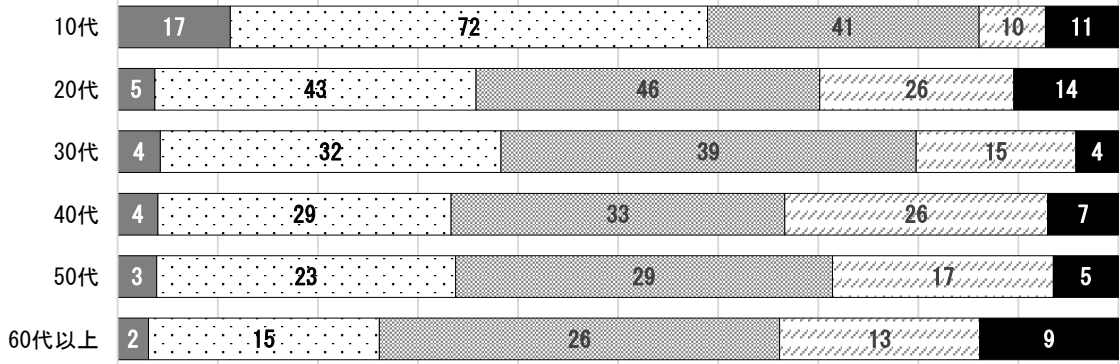
2

「知りたいこと」を  
学ぶ場



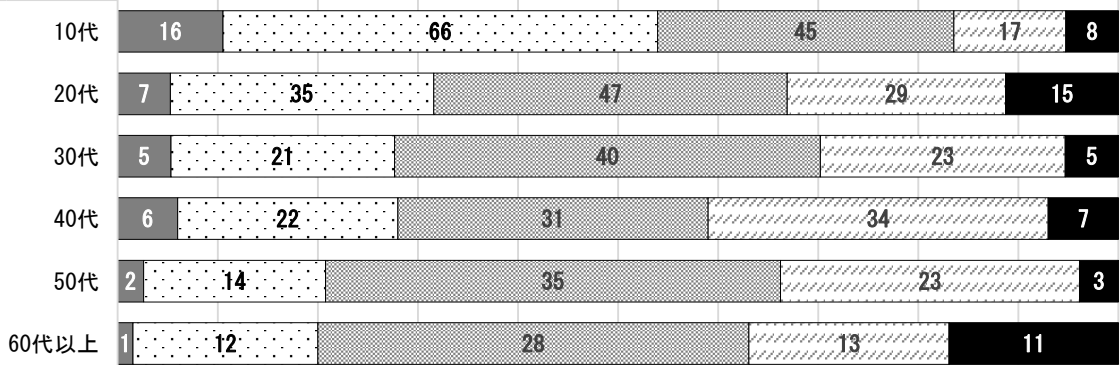
3

「身に付けたい技術」の学習情報



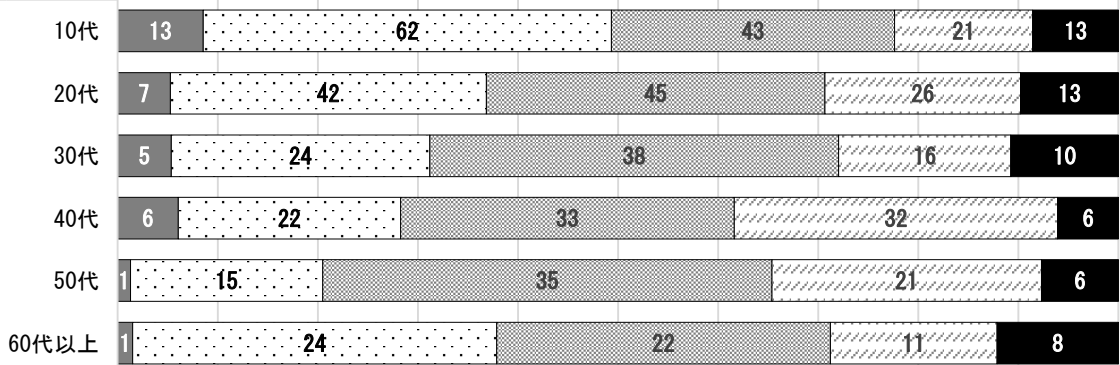
4

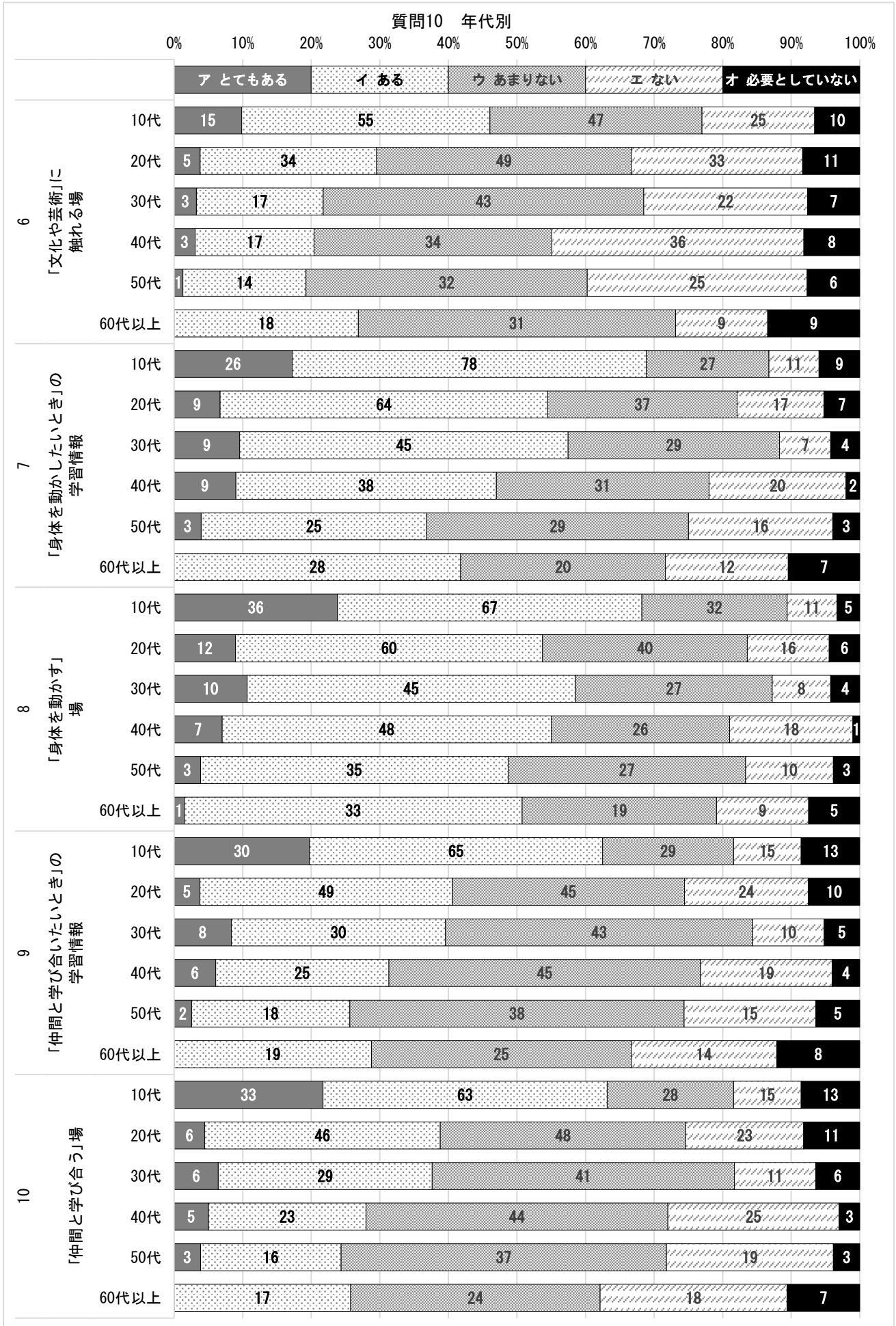
「身に付けたい技術」を学ぶ場

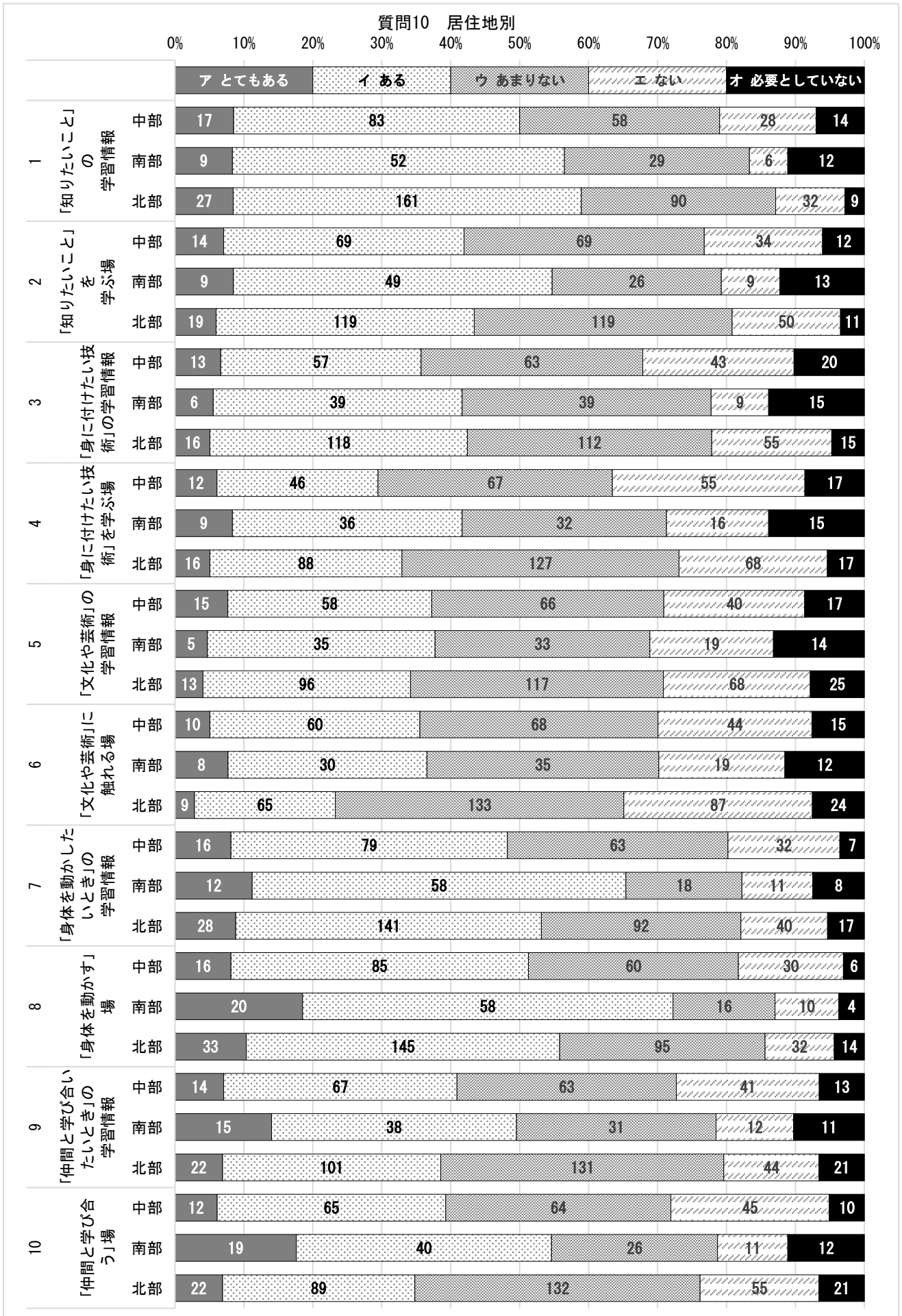


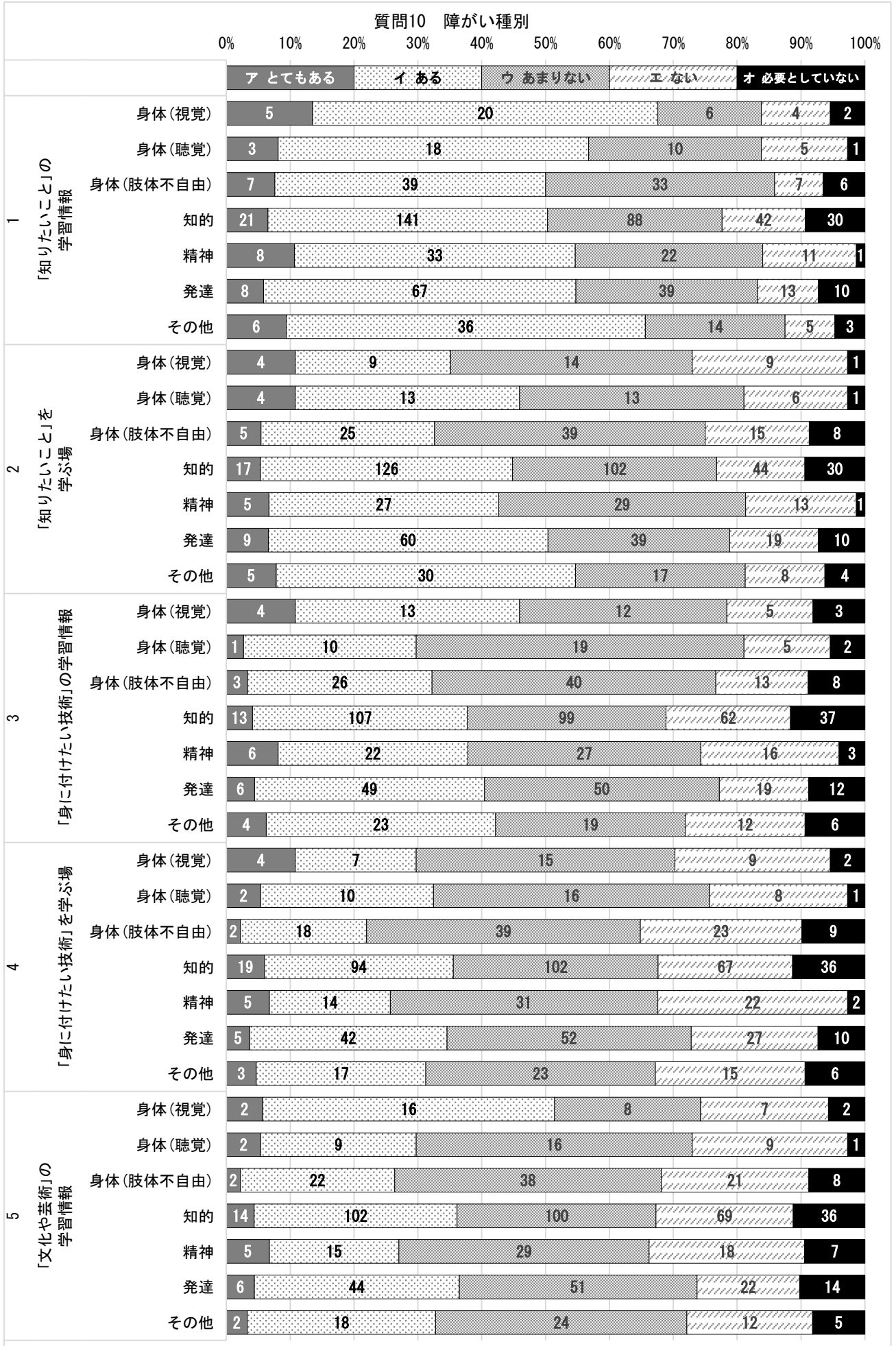
5

「文化や芸術」の  
学習情報

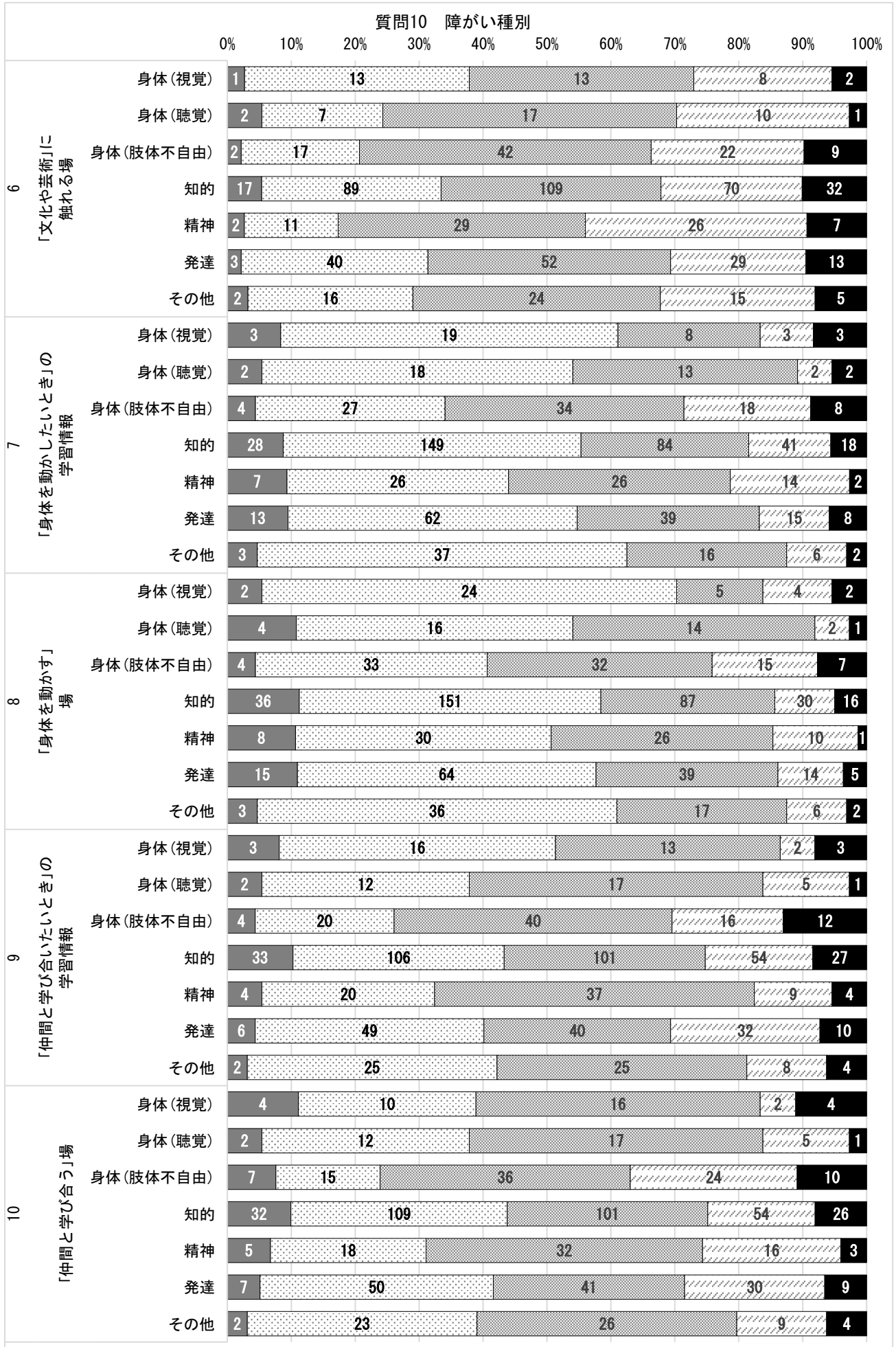








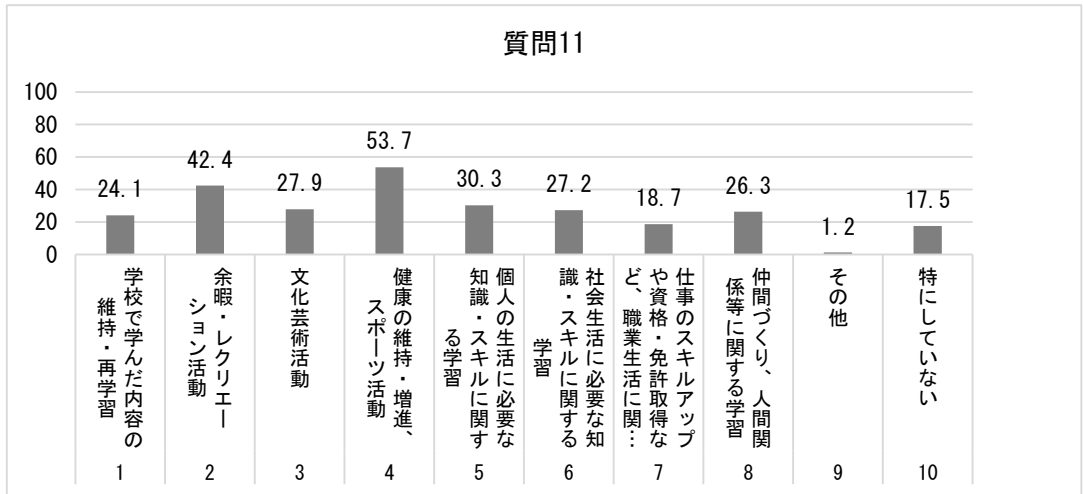




質問11

あなたは、この1年間くらいの間に、以下のような学習活動をしましたか。  
 1～10の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。  
 ※現在、学校に通っている人は、学校以外の場での学習について回答してください。

項目	回答数
1 学校で学んだ内容の維持・再学習	156
2 余暇・レクリエーション活動	274
3 文化芸術活動	180
4 健康の維持・増進、スポーツ活動	347
5 個人の生活に必要な知識・スキルに関する学習	196
6 社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	176
7 仕事のスキルアップや資格・免許取得など、職業生活に関わる学習	121
8 仲間づくり、人間関係等に関する学習	170
9 その他	8
10 特にしていない → 10に○を付けた場合は、質問14に進んでください	113



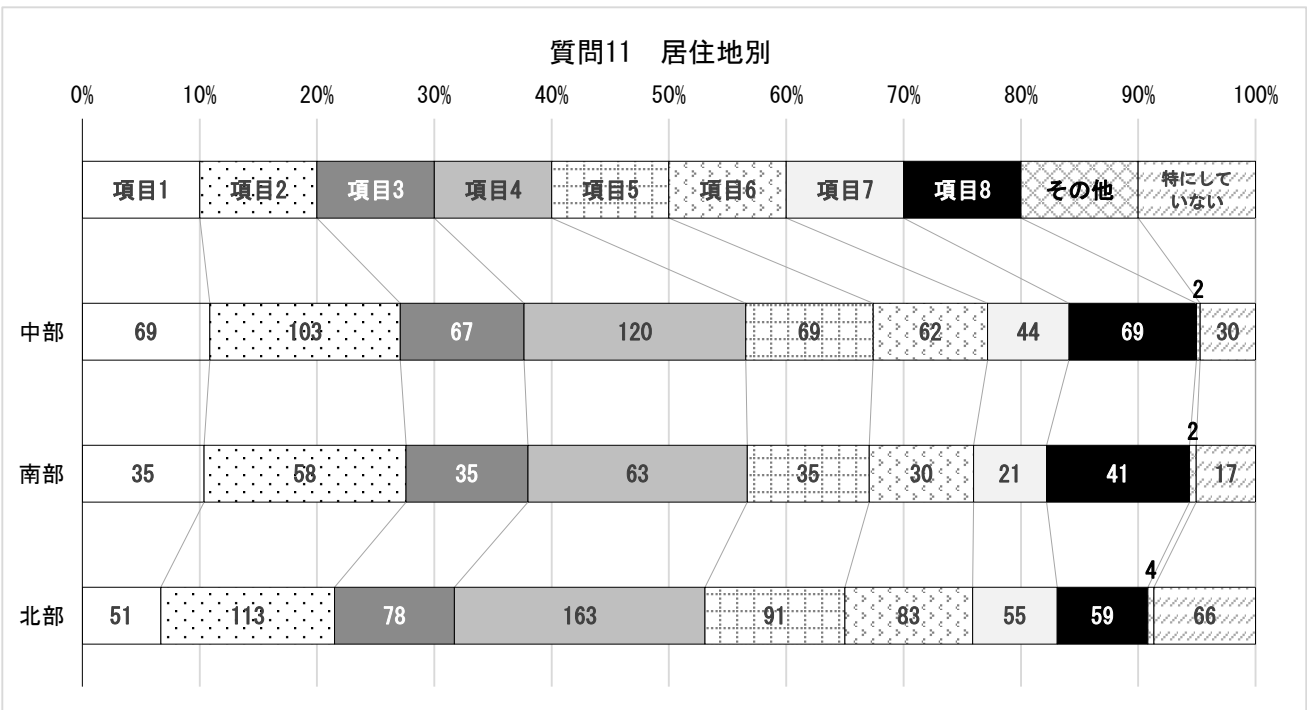
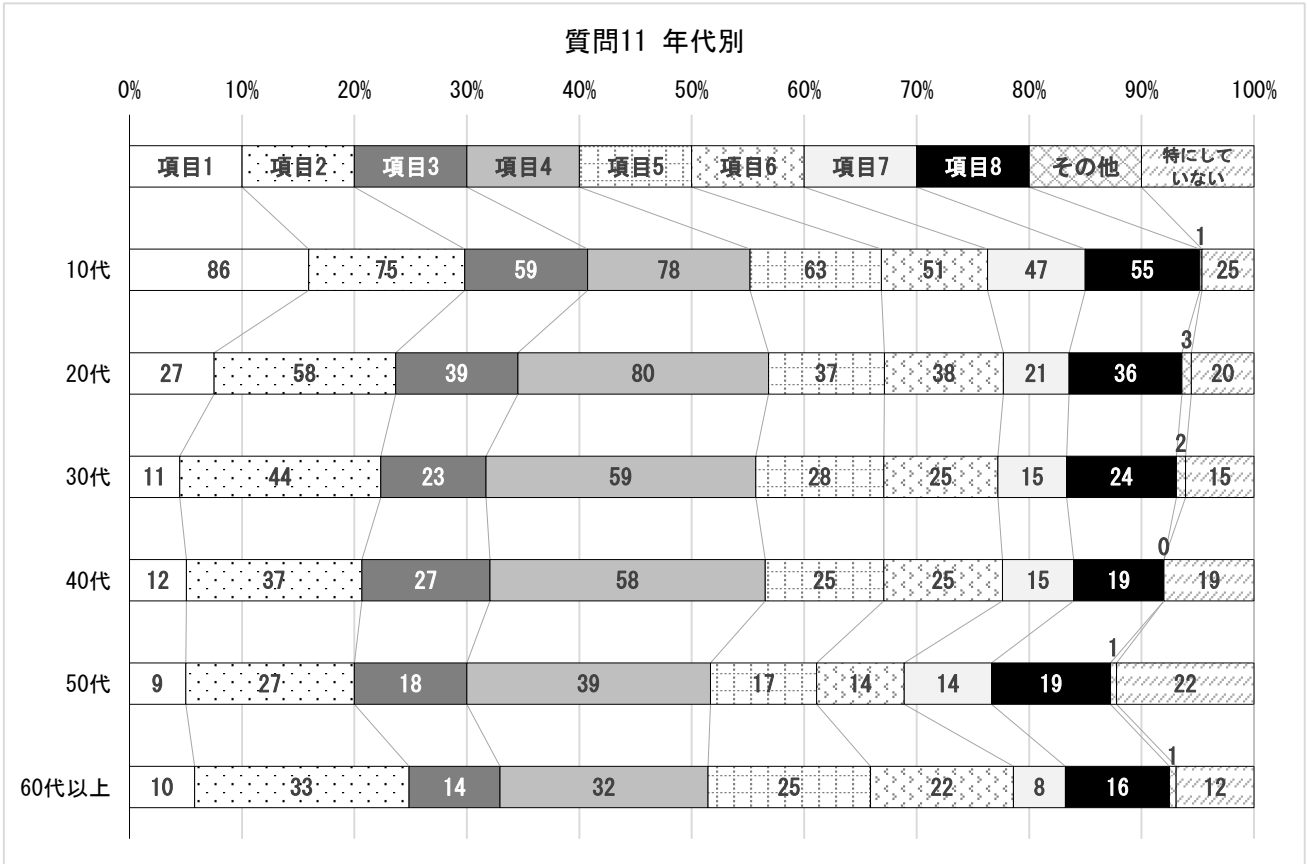
※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位％）

【各項目の具体的な例】

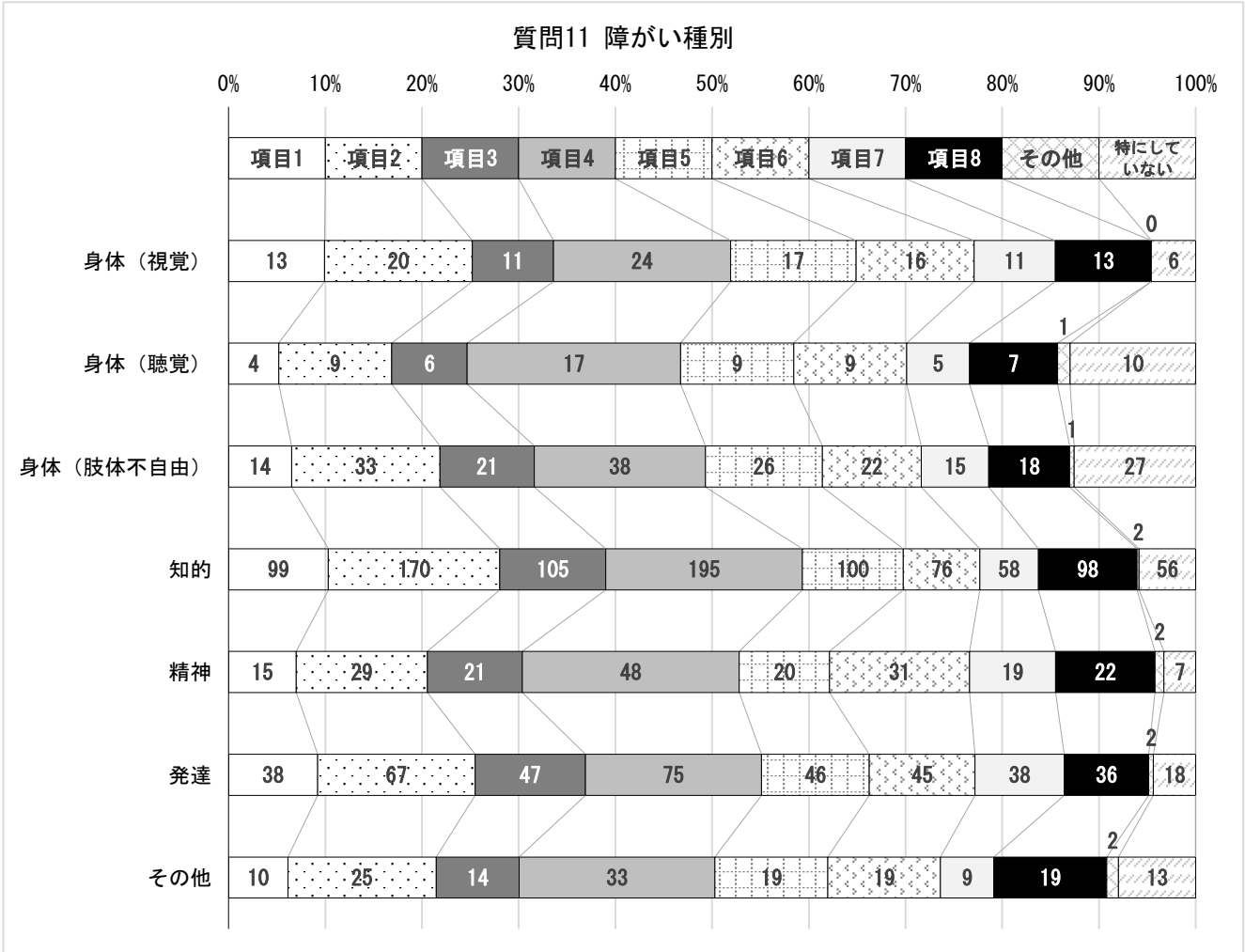
- 項目1 学校で学んだ内容の維持・再学習  
→ 計算、漢字、文学、歴史、自然科学などの学習
- 項目2 余暇・レクリエーション活動  
→ 運動会、地域の祭り、旅行、合宿、人との親睦を深める活動、同窓会活動など
- 項目3 文化芸術活動  
→ 音楽、絵画、造形、手芸、書道、華道、写真など
- 項目4 健康の維持・増進、スポーツ活動  
→ ウォーキング、ランニング、サイクリング、ダンス、ヨガ、水泳、球技、各種障がい者スポーツなど
- 項目5 個人の生活に必要な知識・スキルに関する学習  
→ 料理、栄養や食事、健康法、裁縫、編み物、防災・防犯、結婚生活、家族のことなど
- 項目6 社会生活に必要な知識・スキルに関する学習  
→ 金銭管理、契約、資格や免許、税や社会保障、政治参加、社会保障（年金・保険等）、地域活動、コミュニケーション、集団生活、ルールやマナー、ボランティア、社会体験、コンピュータスキル、情報モラルなど
- 項目7 仕事のスキルアップや資格・免許取得など、職業生活に関わる学習  
→ 就業体験、職場実習、就職や転職に必要な知識や技能、やり遂げる力、ストレスマネジメント、農業体験、労働に関するきまりなど
- 項目8 仲間づくり、人間関係等に関する学習  
→ 人と関わる力、人と一緒に調べたり発表したりする力、人と一緒に成長する場、人と一緒に学び合う場、自分の学習成果を発表する場など

・この1年間ほどの学習経験は、「健康の維持・増進、スポーツ活動」が最も多い（53.7%）。続いて、「余暇・レクリエーション活動」（42.4%）、「個人の生活に必要な知識・スキルに関する学習」（30.3%）の順に多い。以下の「文化芸術活動」（27.9%）、「社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」（27.2%）、「仲間づくり、人間関係等に関する学習」（26.3%）の間には、大きな差は見られない。

項目1	学校で学んだ内容の維持・再学習
項目2	余暇・レクリエーション活動
項目3	文化芸術活動
項目4	健康の維持・増進、スポーツ活動
項目5	個人の生活に必要な知識・スキル
項目6	社会生活に必要な知識・スキル
項目7	職業生活に関わる学習
項目8	仲間づくり、人間関係等に関する学習



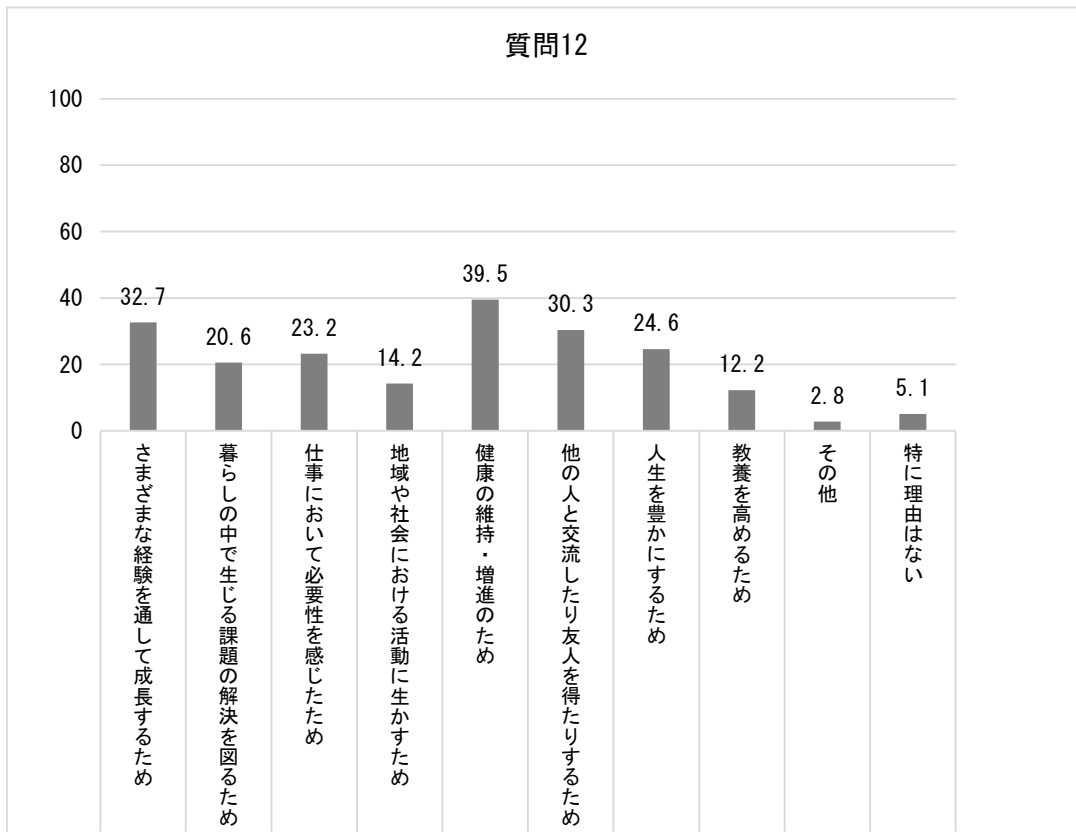
質問11 障がい種別



質問12

質問11で1～9を選んだ方（学習活動をした方）は、なぜその学習活動に取り組もうと思いましたか。次の1～10の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 さまざまな経験を通して成長するため	211
2 暮らしの中で生じる課題の解決を図るため	133
3 仕事において必要性を感じたため	150
4 地域や社会における活動に生かすため	92
5 健康の維持・増進のため	255
6 他の人と交流したり友人を得たりするため	196
7 人生を豊かにするため	159
8 教養を高めるため	79
9 その他	18
10 特に理由はない	33



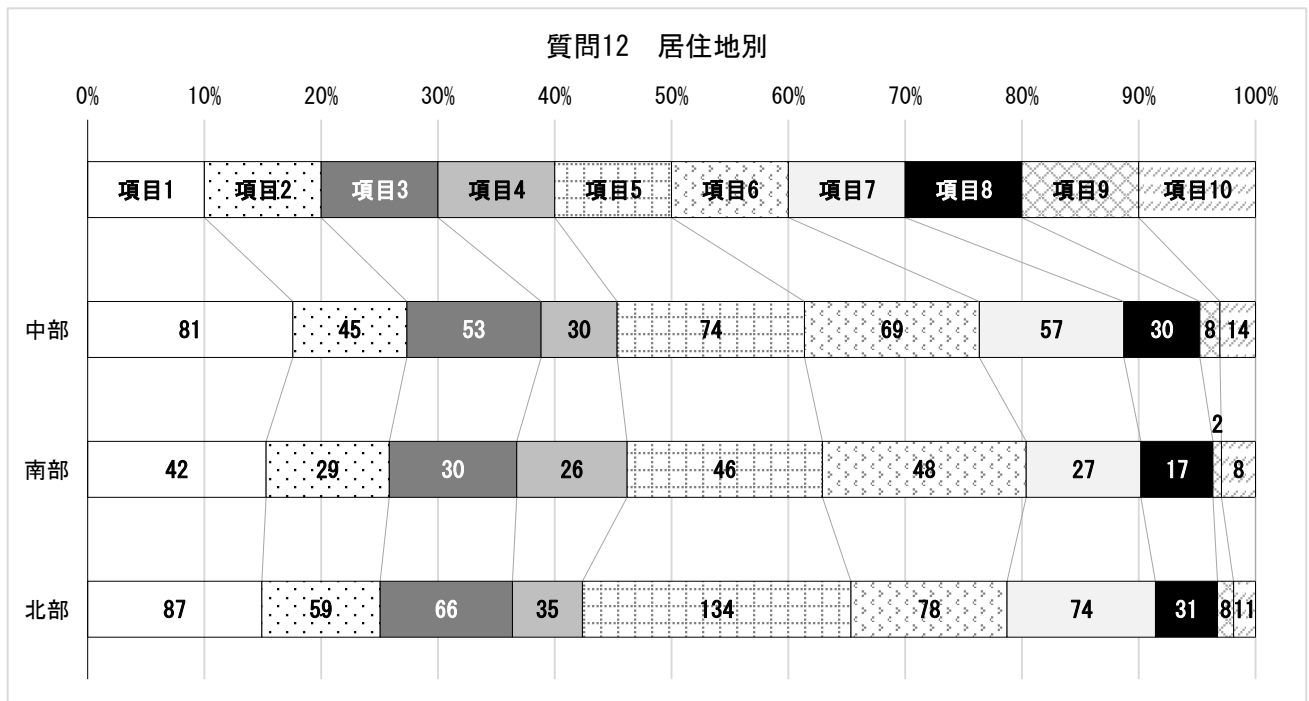
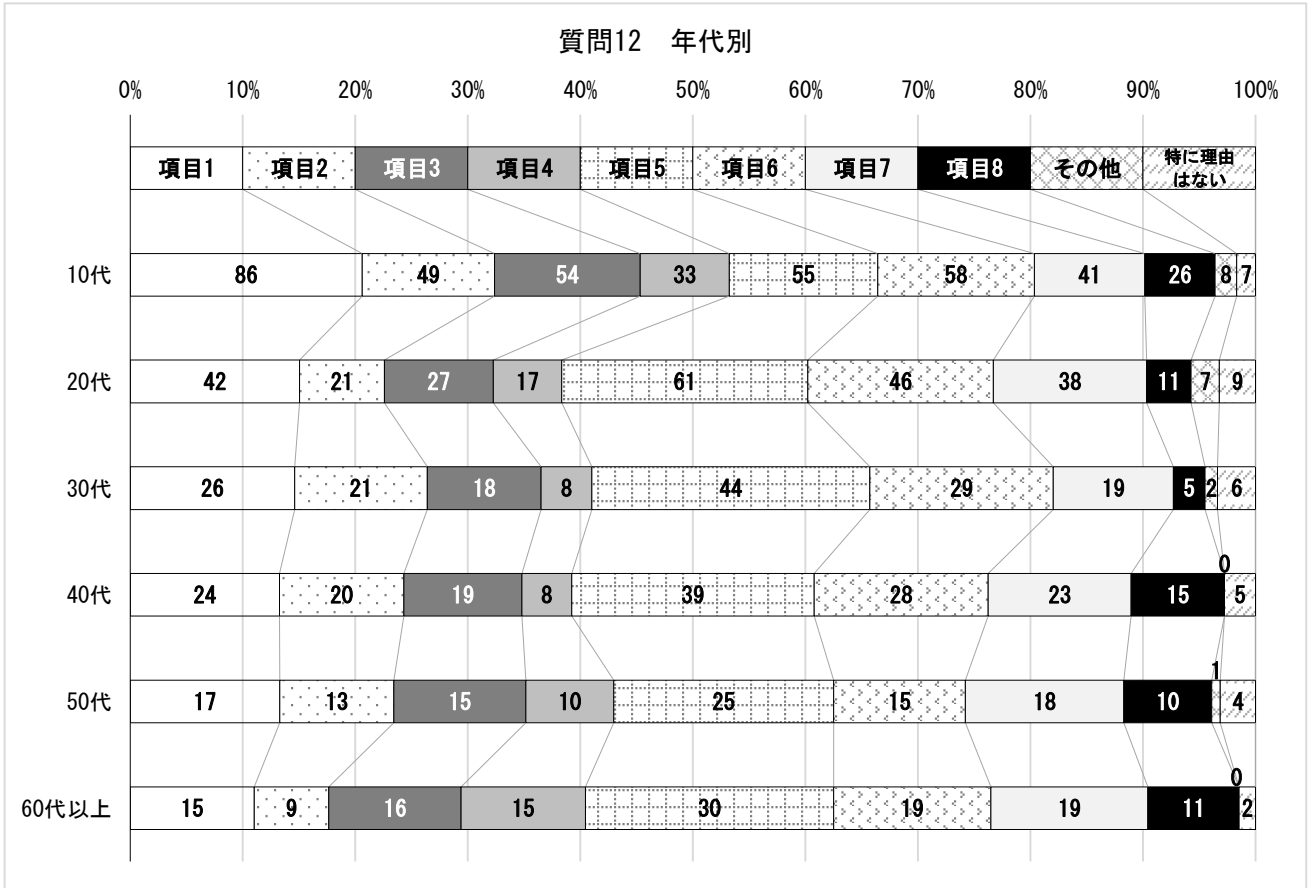
※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位%）

【「その他」に記載のあったのおもな回答】

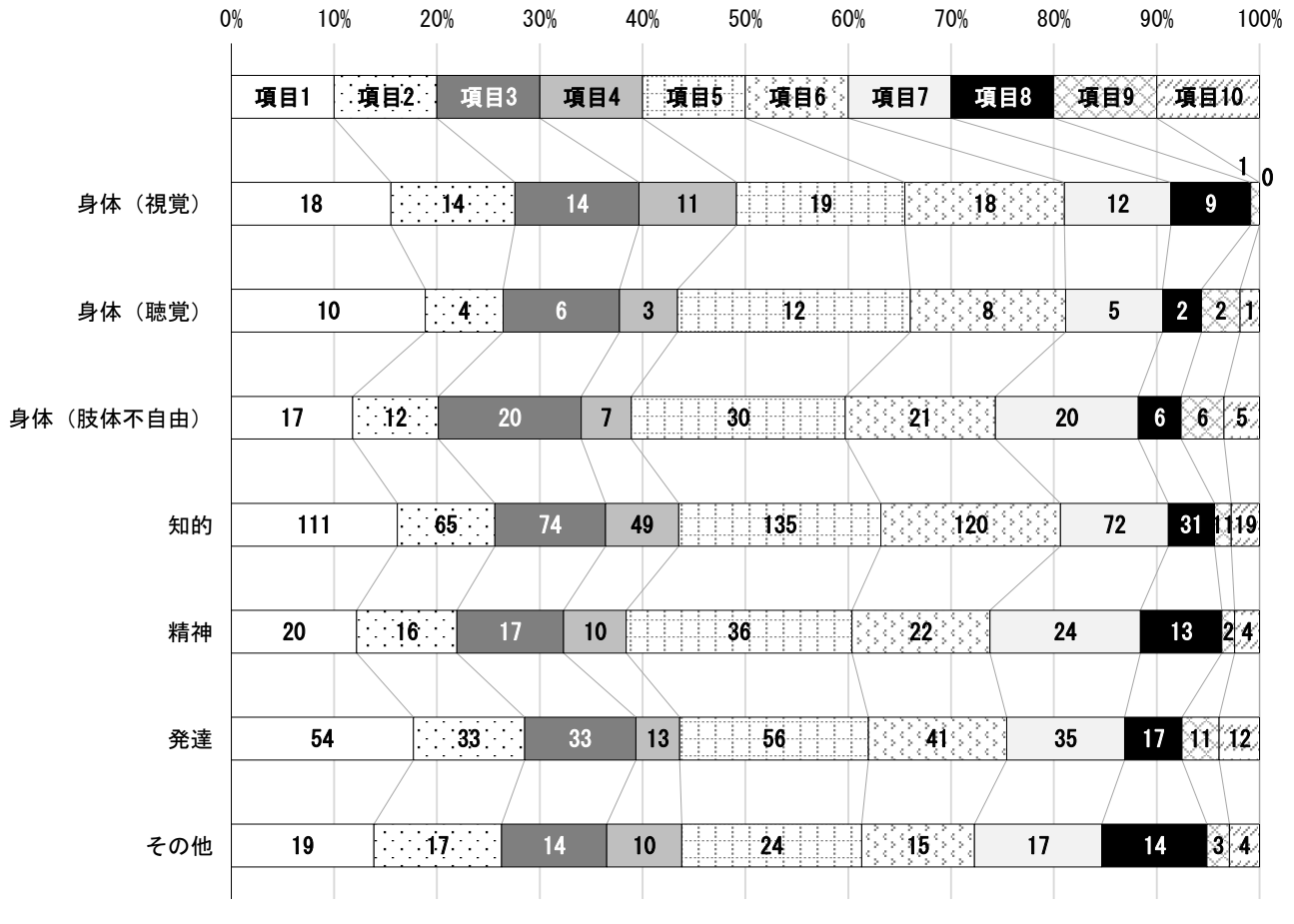
- ・子どものため
- ・速く泳げるようになりたいから
- ・会社の教育の一部であるから
- ・体を動かすのが好きだから
- ・家族に勧められたから

- ・学習活動に取り組んだ理由としては、「健康の維持・増進のため」が最も多く（39.5%）、質問11で「健康の維持・増進、スポーツ活動」の学習経験が高かったことと一致する。
- ・以下、「さまざまな経験を通して成長するため」（32.7%）、「他の人と交流したり友人を得たりするため」（30.3%）と続いている。

項目1	さまざまな経験を通して成長するため
項目2	暮らしの中で生じる課題の解決を図るため
項目3	仕事において必要性を感じたため
項目4	地域や社会における活動に生かすため
項目5	健康の維持・増進のため
項目6	他の人と交流したり友人を得たりするため
項目7	人生を豊かにするため
項目8	教養を高めるため



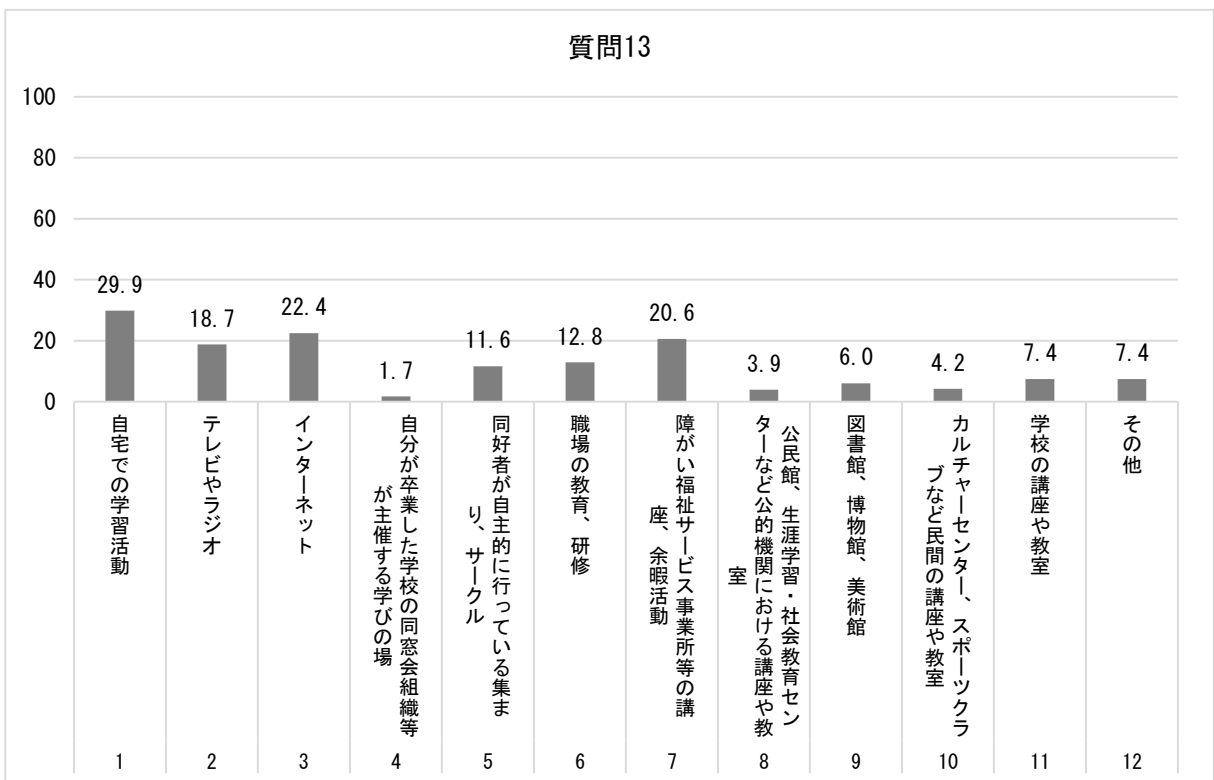
質問12 障がい種別



質問13

質問11で1～9を選んだ方（学習活動をした方）は、どこで学習活動をしましたか。次の1～12の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 自宅での学習活動	193
2 テレビやラジオ	121
3 インターネット	145
4 自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場	11
5 同好者が自主的に行っている集まり、サークル	75
6 職場の教育、研修	83
7 障がい福祉サービス事業所等の講座、余暇活動	133
8 公民館、生涯学習・社会教育センターなど公的機関における講座や教室	25
9 図書館、博物館、美術館	39
10 カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室	27
11 学校の講座や教室	48
12 その他	48



※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位%）

【「その他」に記載のあったのおもな回答】

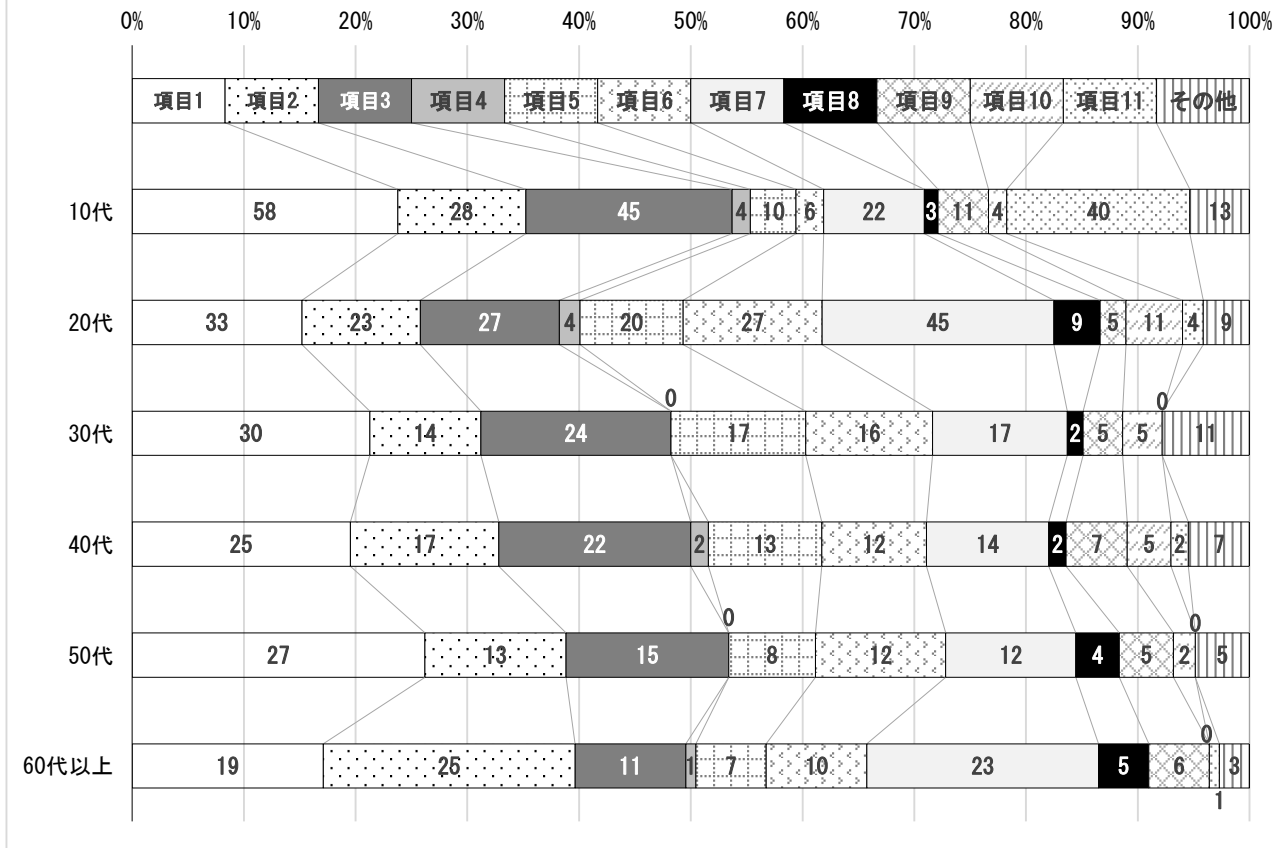
- ・ 放課後等デイサービス
- ・ 患者会
- ・ 所属する団体・協会
- ・ LINEグループ
- ・ 公道、公園

・ 質問11の学習経験では、「健康の維持・増進、スポーツ活動」「余暇・レクリエーション活動」の回答が多かったが、学習活動をした場所・メディアについては「自宅」（29.9%）、インターネット（22.4%）が多く、続いて「福祉サービス事業所」（20.6%）となっている。

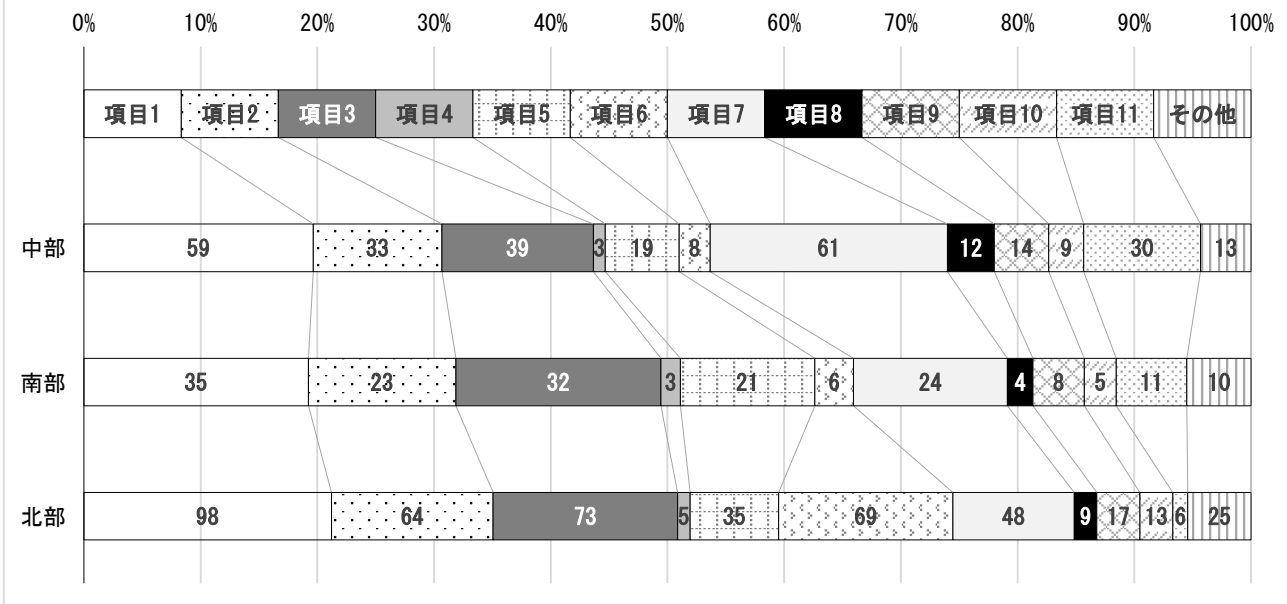


項目1	自宅での学習活動
項目2	テレビやラジオ
項目3	インターネット
項目4	学校の同窓会組織等が主催する学びの場
項目5	同好者による自主的な集まり、サークル
項目6	職場の教育、研修
項目7	福祉サービス事業所等の講座、余暇活動
項目8	公民館など公的機関における講座や教室
項目9	図書館、博物館、美術館
項目10	カルチャーセンターなど民間の講座や教室
項目11	学校の講座や教室

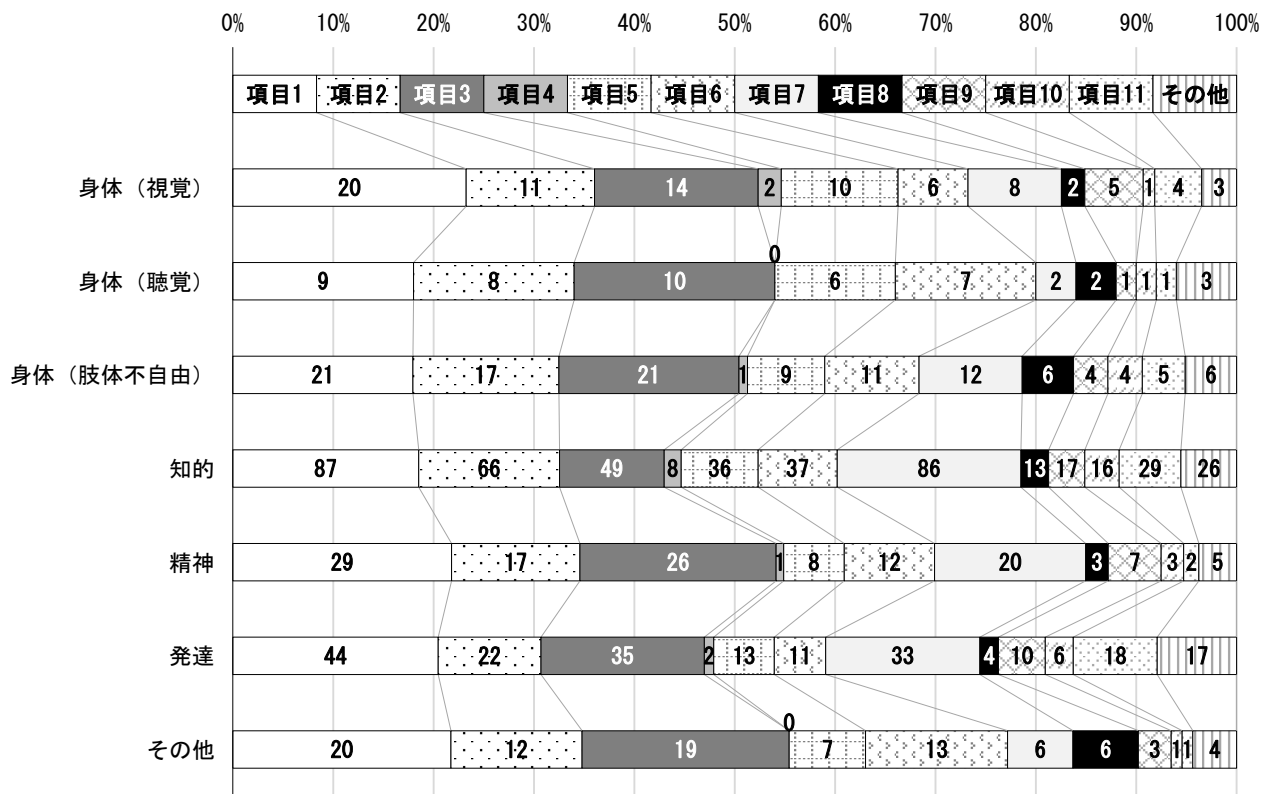
質問13 年代別



質問13 居住地別



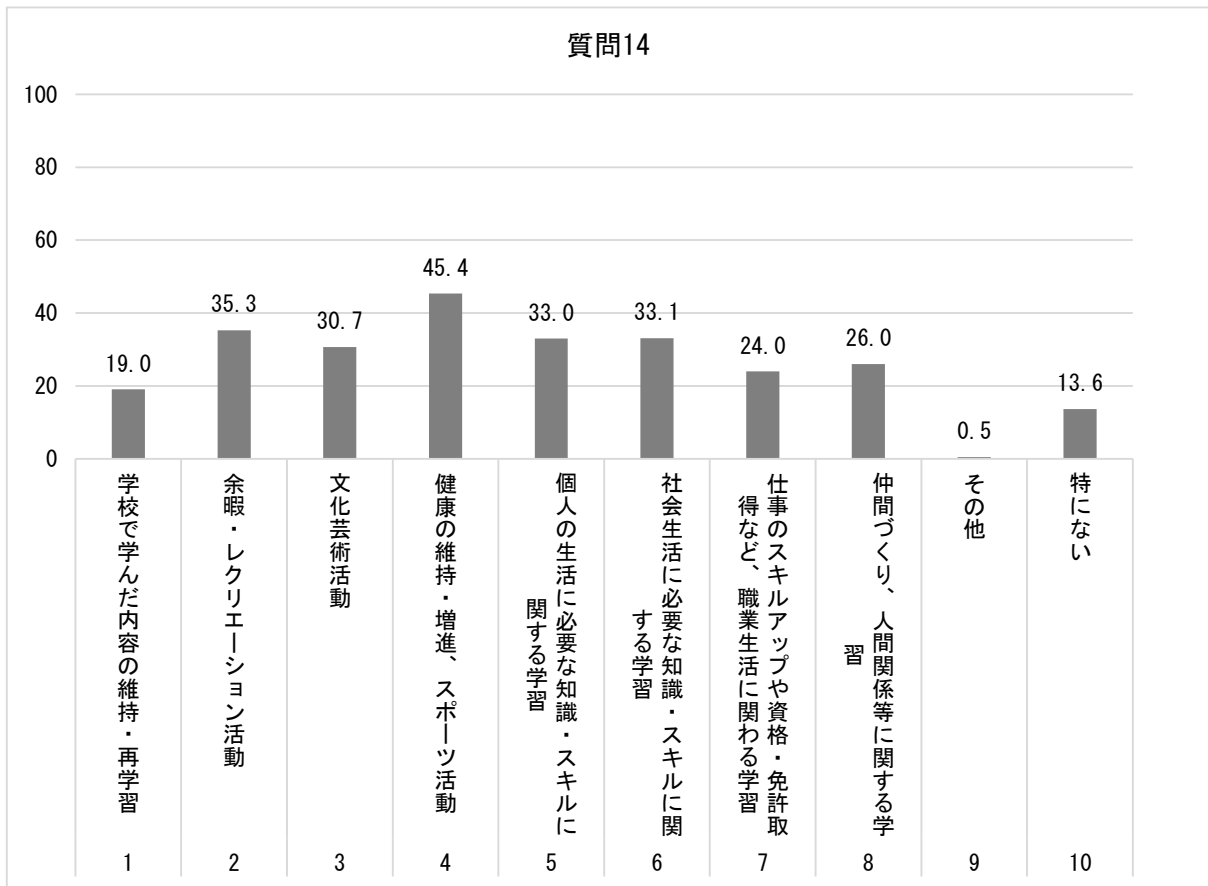
質問13 障がい種別



質問14

あなたが、今後してみたいと思う学習活動はどれですか。  
1～10の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

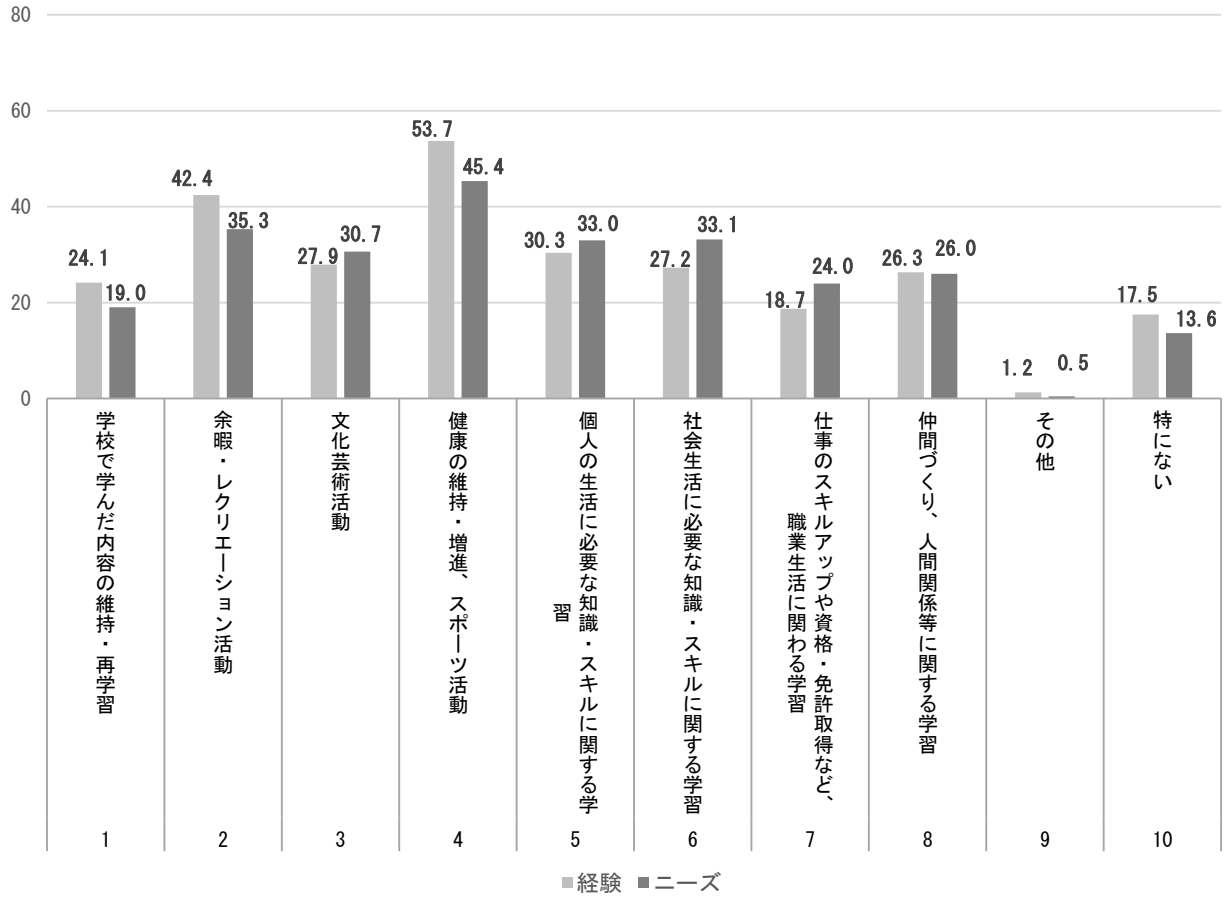
項目	回答数
1 学校で学んだ内容の維持・再学習	123
2 余暇・レクリエーション活動	228
3 文化芸術活動	198
4 健康の維持・増進、スポーツ活動	293
5 個人の生活に必要な知識・スキルに関する学習	213
6 社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	214
7 仕事のスキルアップや資格・免許取得など、職業生活に関わる学習	155
8 仲間づくり、人間関係等に関する学習	168
9 その他	3
10 特にない → 10に○を付けた場合は、質問16に進んでください	88



※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位%）

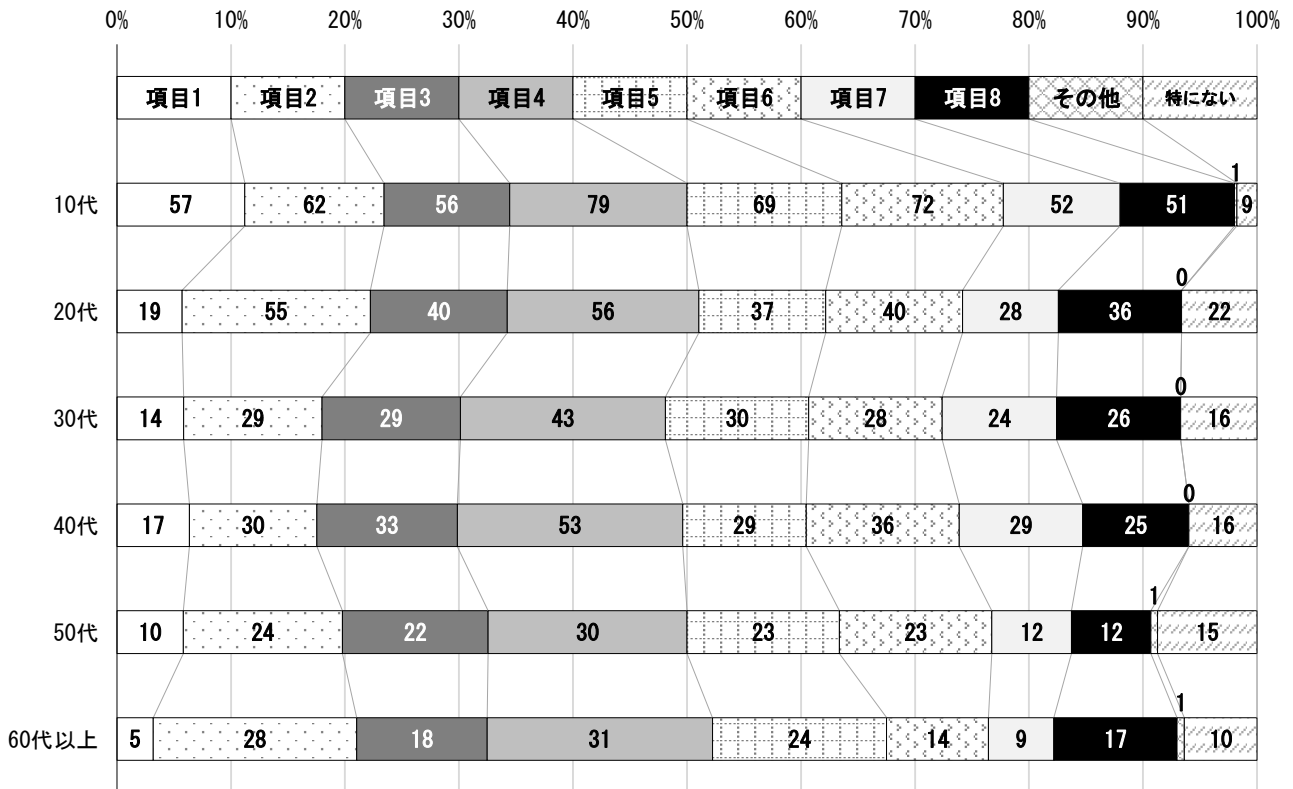
- ・ 質問11の学習経験と同様に、「健康の維持・増進、スポーツ活動」（45.4%）、「余暇・レクリエーション」（35.3%）のニーズが高い。
- ・ 質問11の学習経験よりも回答の割合が高くなっているものとして、「文化芸術活動」（27.9%→30.7%）、「個人生活」（30.3%→33.0%）、「社会生活」（27.2%→33.1%）、「職業生活」（18.7%→24.0%）がある。

質問11（学習経験）と質問14（今後のニーズ）の回答割合の比較

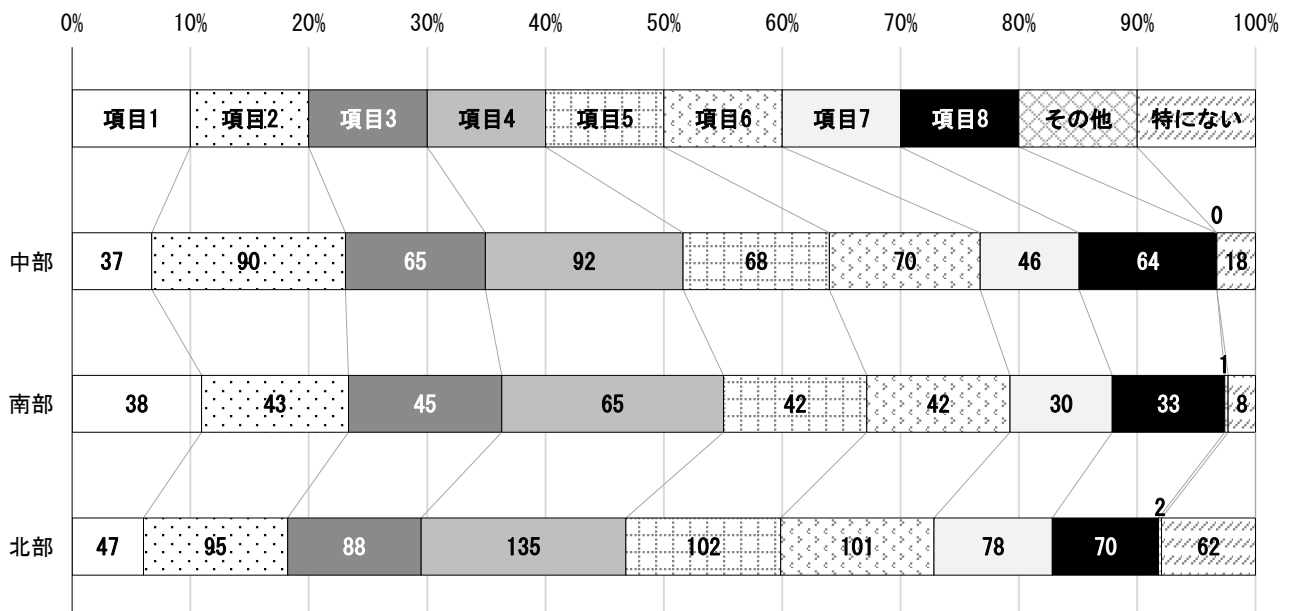


項目1	学校で学んだ内容の維持・再学習
項目2	余暇・レクリエーション活動
項目3	文化芸術活動
項目4	健康の維持・増進、スポーツ活動
項目5	個人生活に必要な知識・スキルに関する学習
項目6	社会生活に必要な知識・スキルに関する学習
項目7	職業生活に関わる学習
項目8	仲間づくり、人間関係等に関する学習

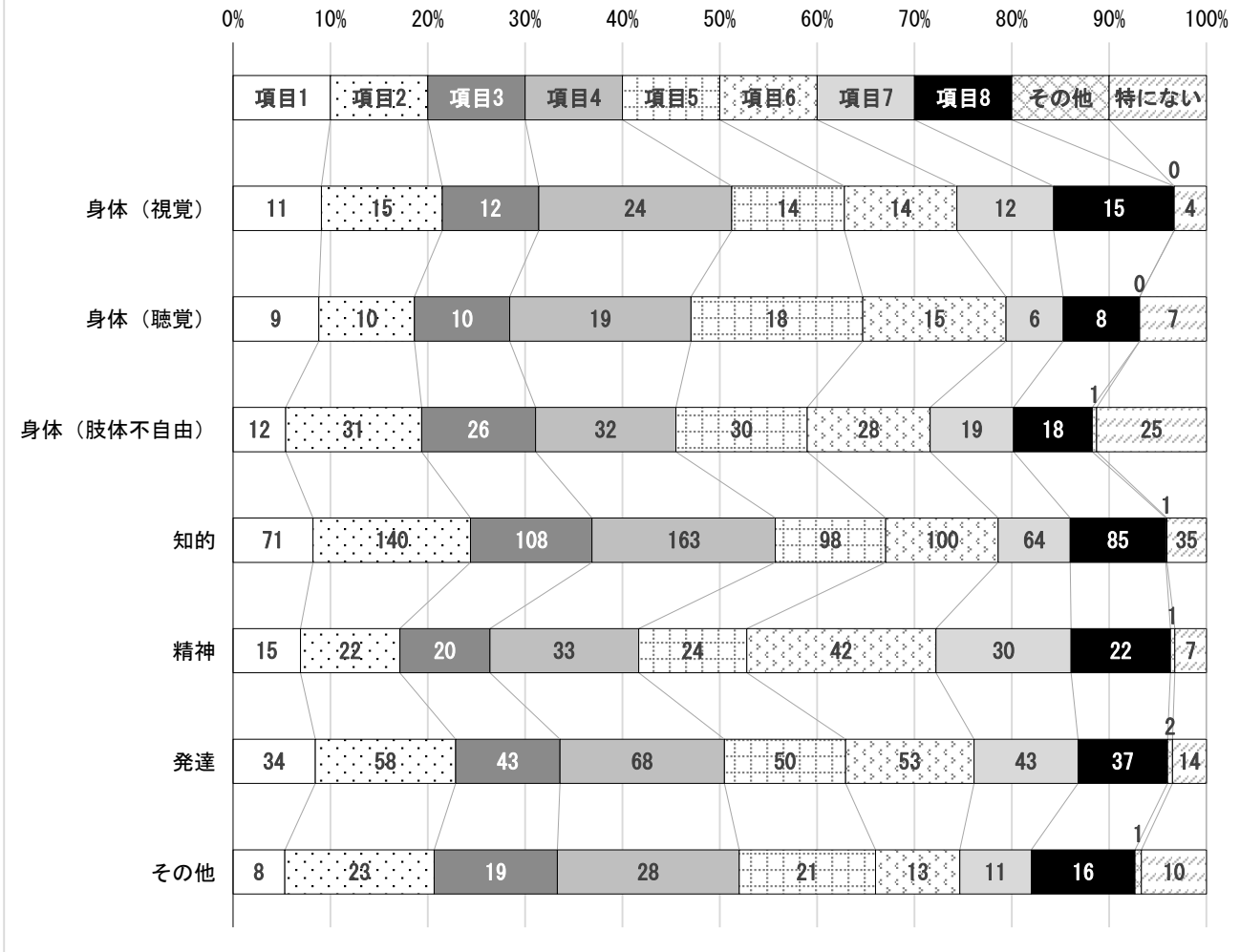
質問14 年代別



質問14 居住地別



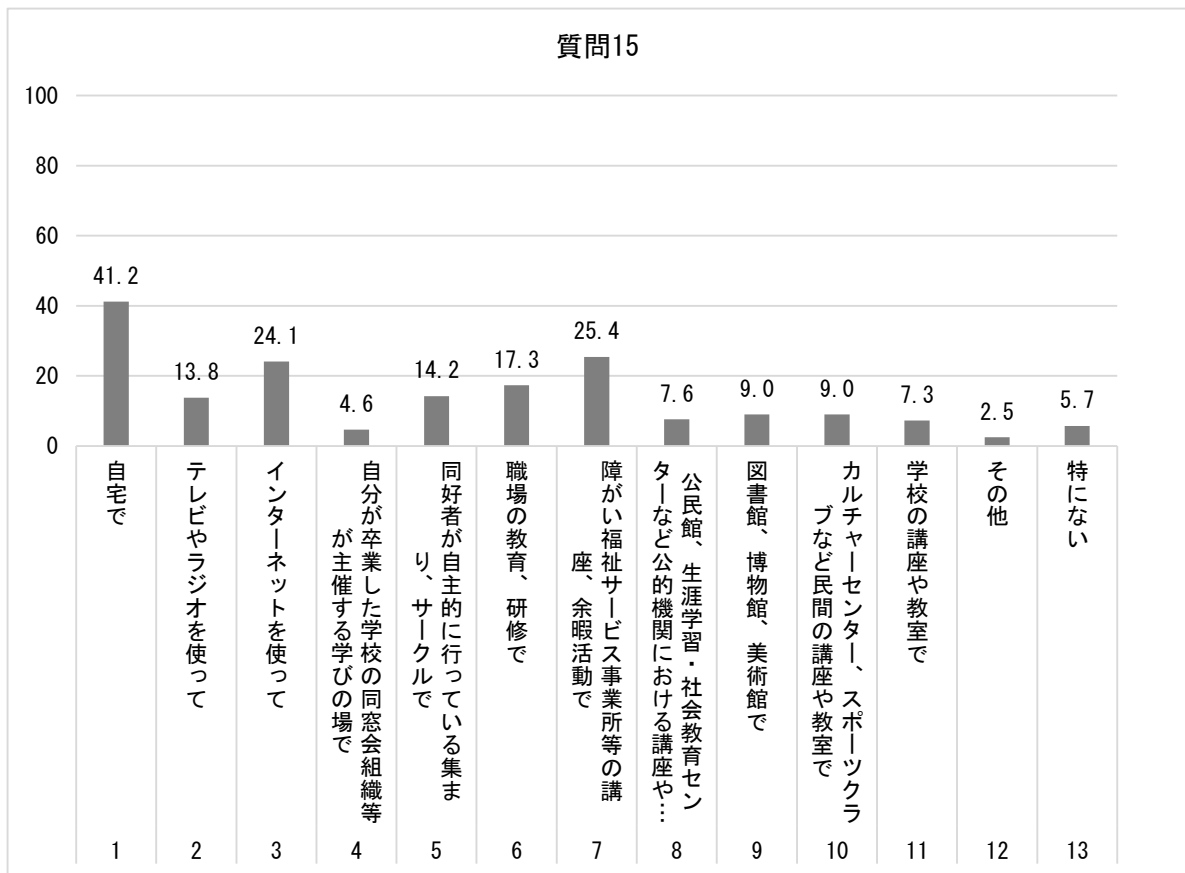
質問14 障がい種別



質問15

質問14で1～9を選んだ方（学習活動をしたい方）は、どこでしてみたいと思いますか。  
次の1～13の中からあてはまるものをすべて選び、「○」を記入してください。

項目	回答数
1 自宅で	266
2 テレビやラジオを使って	89
3 インターネットを使って	156
4 自分が卒業した学校の同窓会組織等が主催する学びの場で	30
5 同好者が自主的に行っている集まり、サークルで	92
6 職場の教育、研修で	112
7 障がい福祉サービス事業所等の講座、余暇活動で	164
8 公民館、生涯学習・社会教育センターなど公的機関における講座や教室で	49
9 図書館、博物館、美術館で	58
10 カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室で	58
11 学校の講座や教室で	47
12 その他	16
13 特にない	37



※グラフ中の値は、回収部数の計（646）に対する回答割合を示す。（単位%）

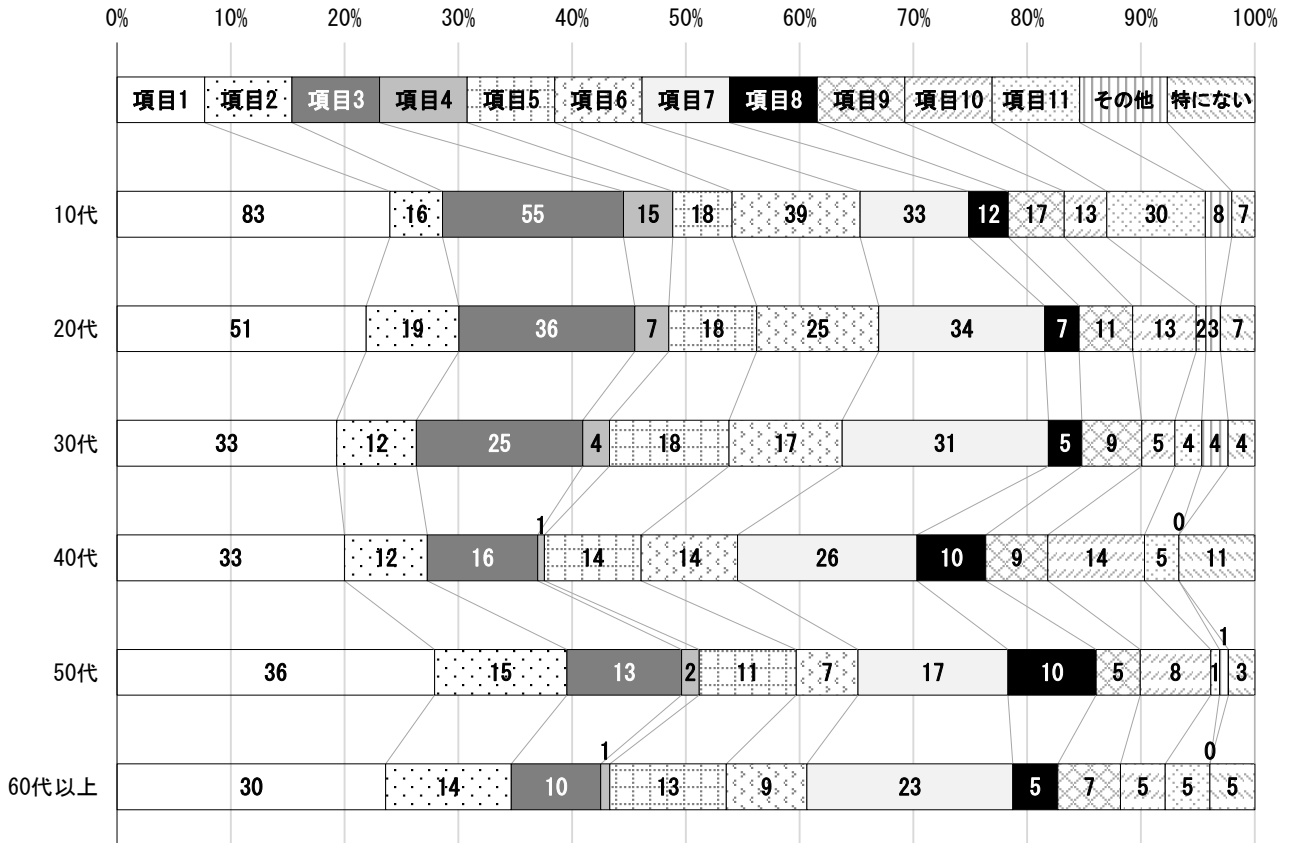
【「その他」に記載のあったのおもな回答】

- ・ 患者会で
- ・ 日常で関わる人の中で
- ・ 県外で
- ・ 職場での仕事を通して技術を習得したい

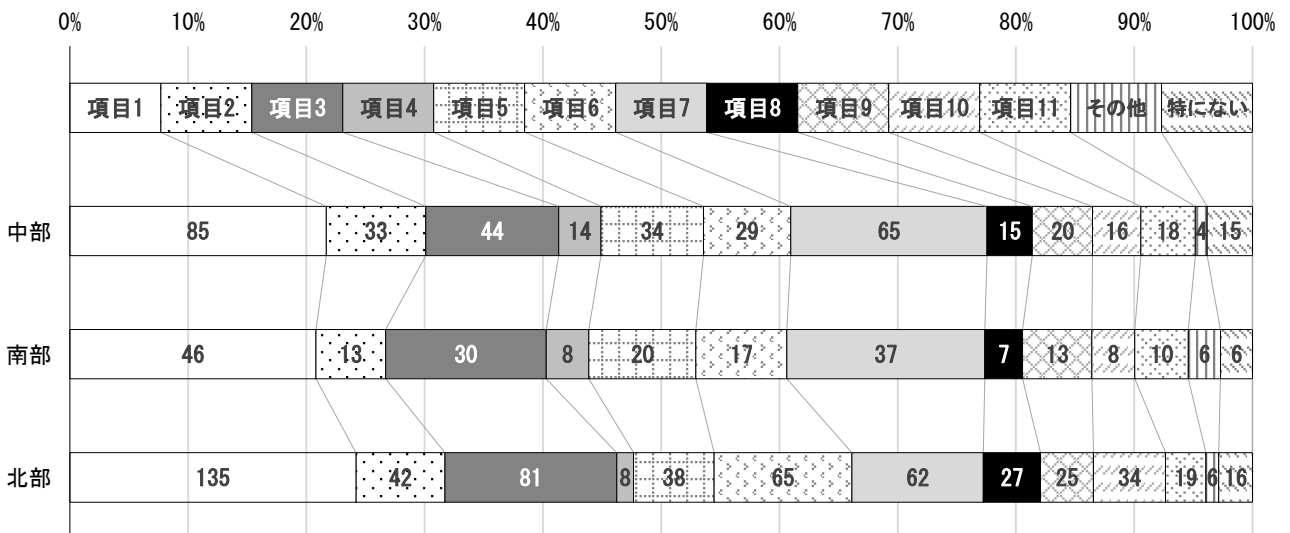
・ 学習活動をしたい場所・メディアについては、「自宅」（41.2%）が最も高く、福祉サービス事業所等」（25.4%）、インターネット（24.1%）と続いている。

項目1	自宅での学習活動
項目2	テレビやラジオ
項目3	インターネット
項目4	学校の同窓会組織等が主催する学びの場
項目5	同好者による自主的な集まり、サークル
項目6	職場の教育、研修
項目7	福祉サービス事業所等の講座、余暇活動
項目8	公民館など公的機関における講座や教室
項目9	図書館、博物館、美術館
項目10	カルチャーセンターなど民間の講座や教室
項目11	学校の講座や教室

質問15 年代別

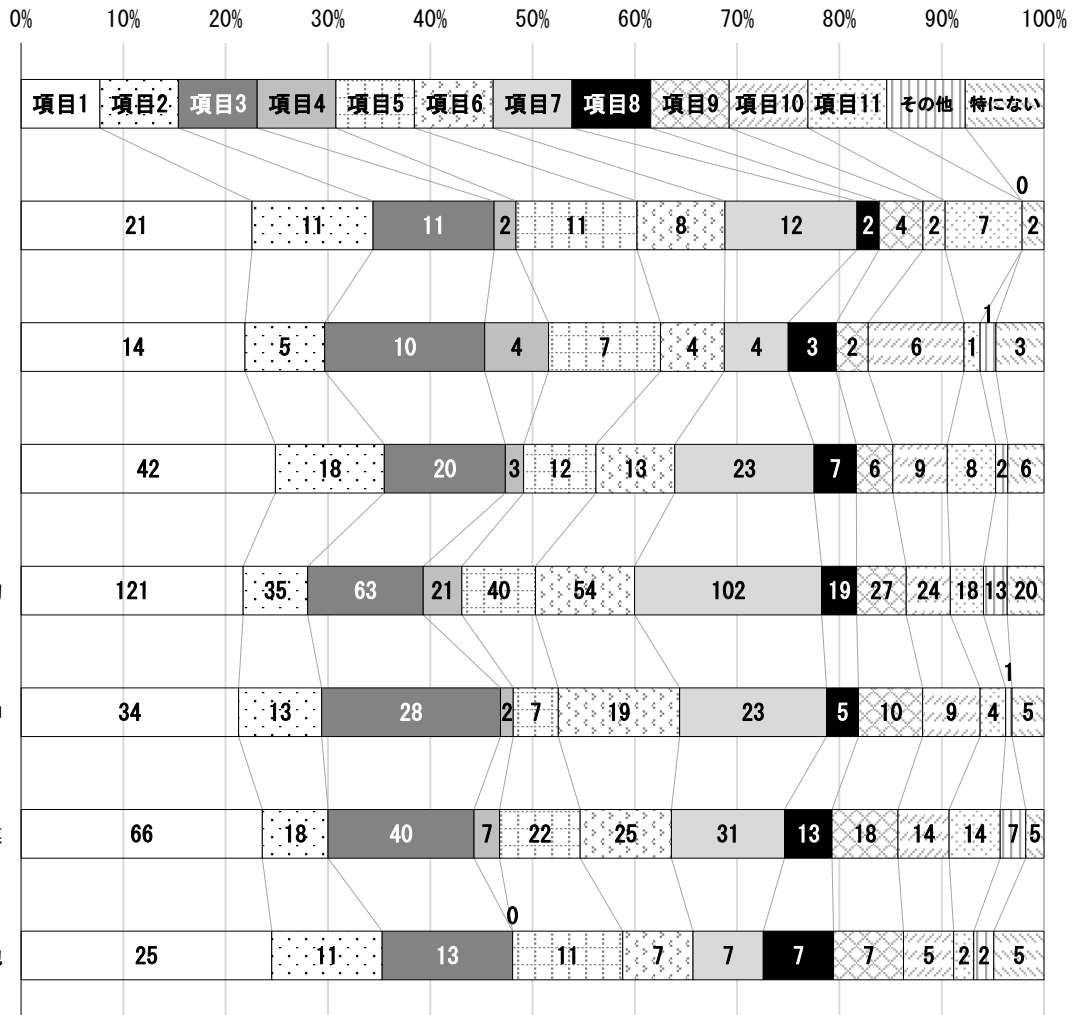


質問15 居住地別





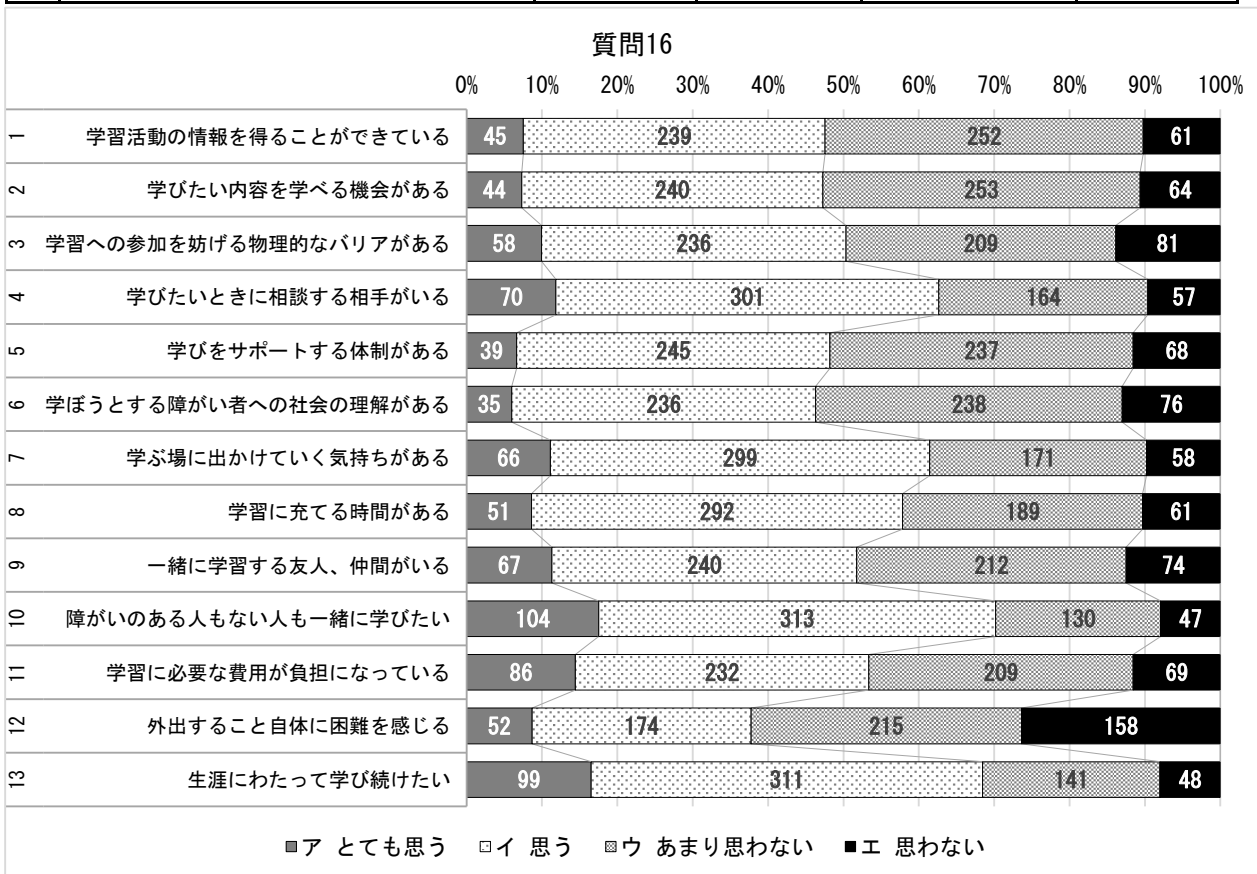
質問15 障がい種別



質問16

あなたは、次の1～13のそれぞれの項目についてどのように思いますか。  
ア～エの中から最もよくあてはまるものを1つ選んで「○」を記入してください。

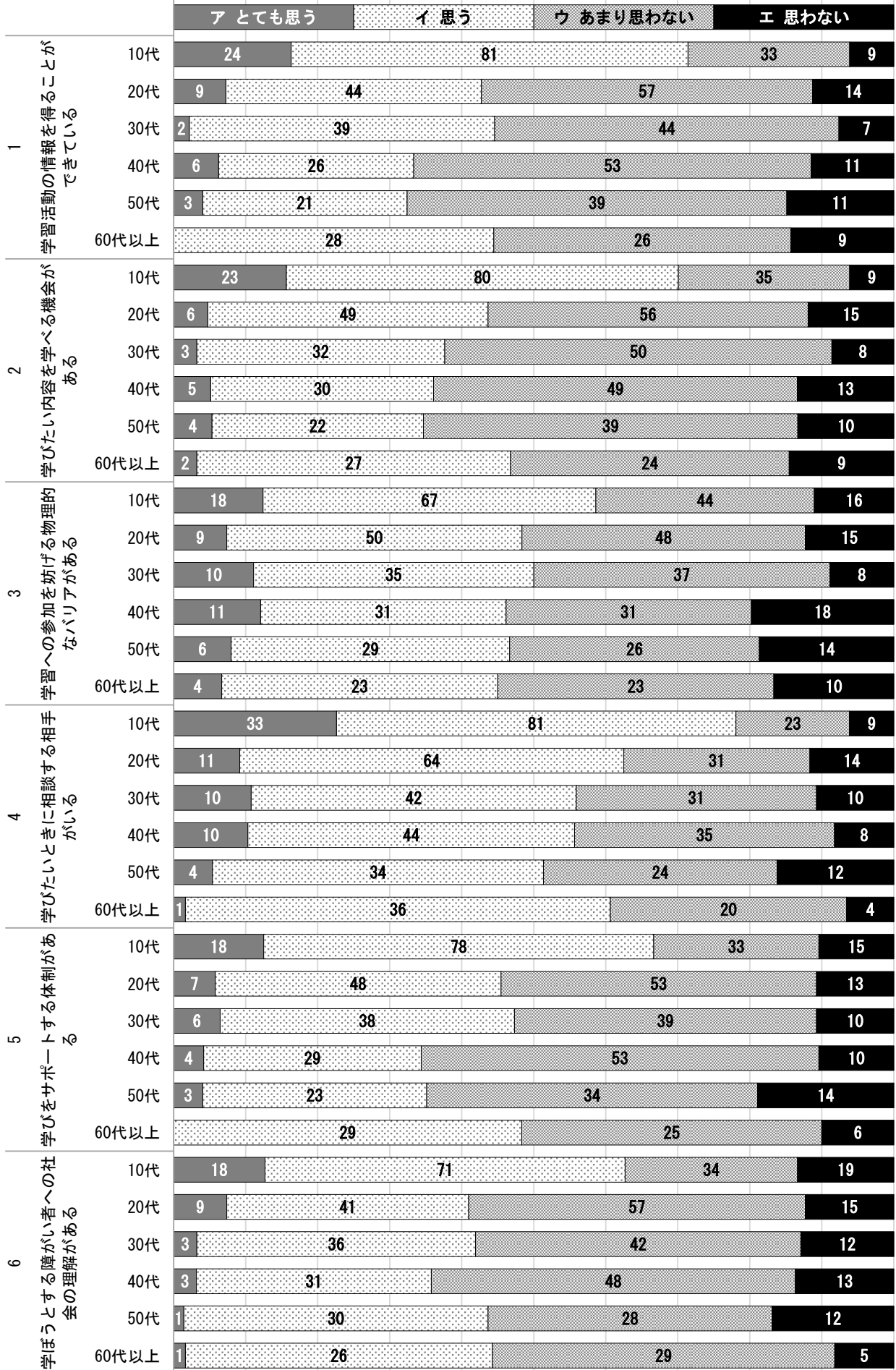
	ア とても思う	イ 思う	ウ あまり思わない	エ 思わない
1 学習活動の情報を得ることができている	45	239	252	61
2 学びたい内容を学べる機会がある	44	240	253	64
3 学習への参加を妨げる物理的なバリアがある	58	236	209	81
4 学びたいときに相談する相手がいる	70	301	164	57
5 学びをサポートする体制がある	39	245	237	68
6 学ぼうとする障がい者への社会の理解がある	35	236	238	76
7 学ぶ場に出かけていく気持ちがある	66	299	171	58
8 学習に充てる時間がある	51	292	189	61
9 一緒に学習する友人、仲間がいる	67	240	212	74
10 障がいのある人もない人も一緒に学びたい	104	313	130	47
11 学習に必要な費用が負担になっている	86	232	209	69
12 外出すること自体に困難を感じる	52	174	215	158
13 生涯にわたって学び続けたい	99	311	141	48

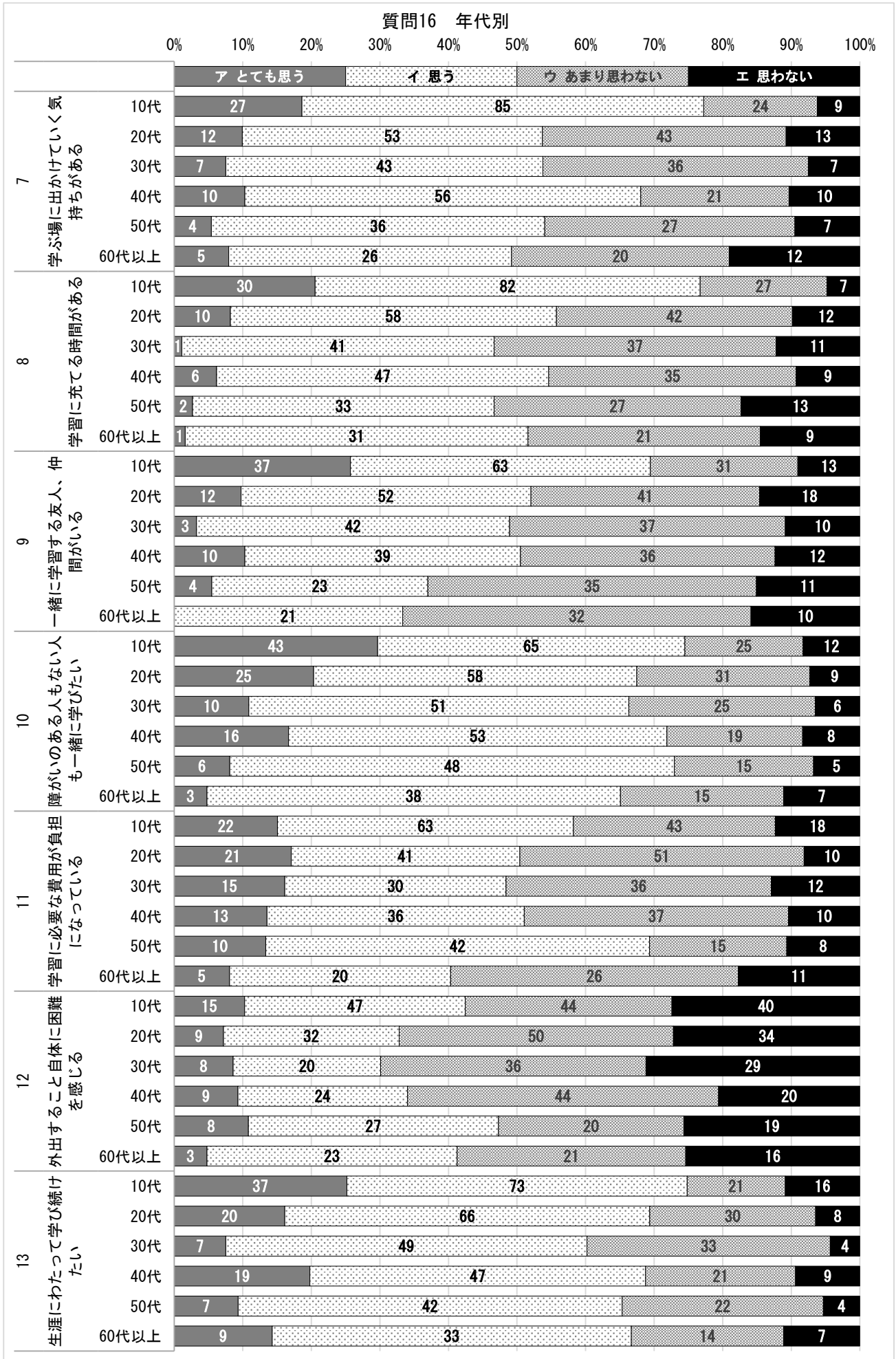


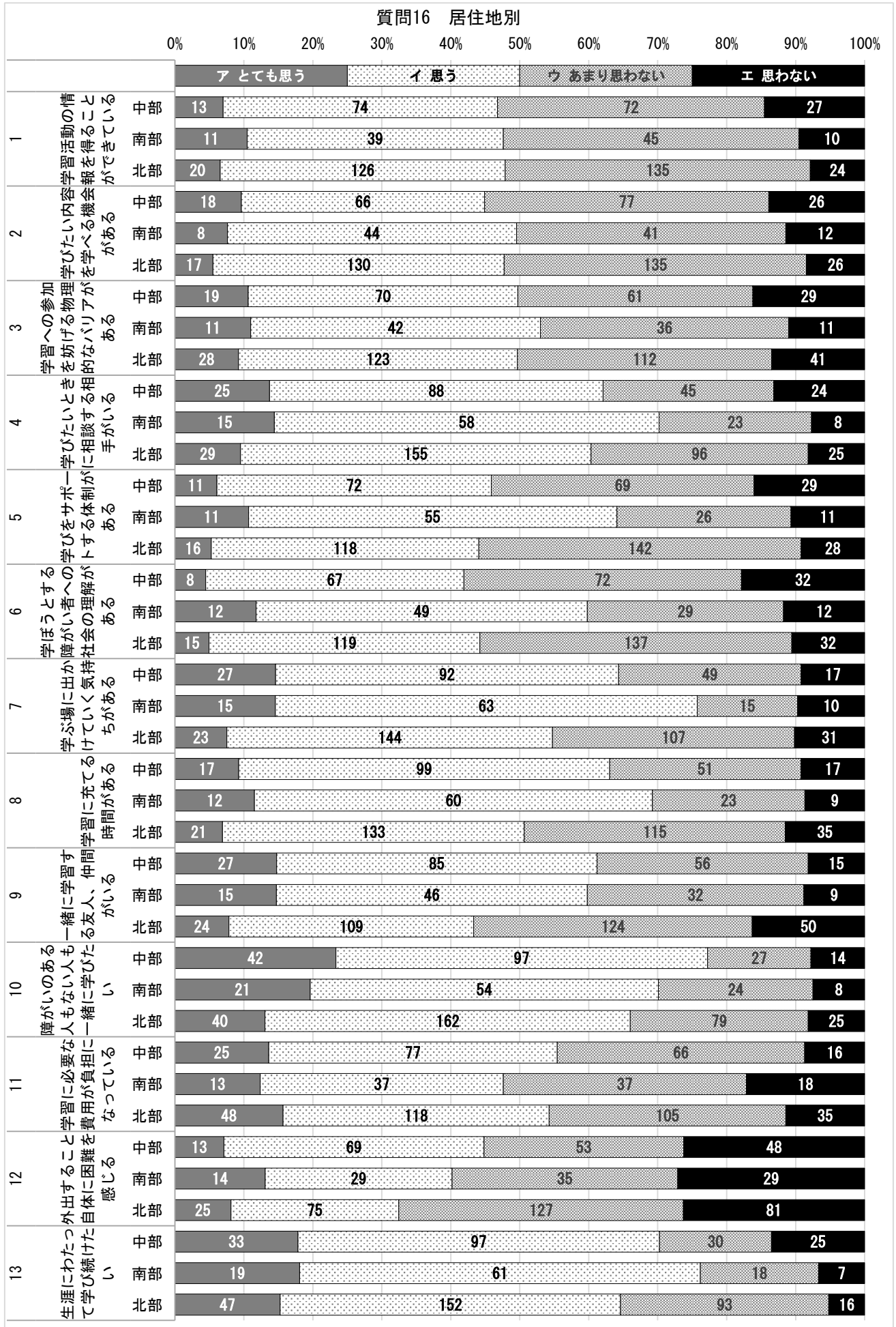
- ・「とても思う」「思う」の回答割合が高い項目
  - 「障がいのある人もない人も一緒に学びたい」 (70.2%)
  - 「生涯にわたって学び続けたい」 (68.4%)
  - 「学びたいときに相談する相手がいる」 (62.7%)
  - 「学ぶ場に出かけていく気持ちがある」 (61.4%)
- ・「あまり思わない」「思わない」の回答割合が高い項目
  - 「外出すること自体に困難を感じる」 (62.3%)
  - 「学ぼうとする障がい者への社会の理解がある」 (53.7%)
  - 「学びたい内容を学べる機会がある」 (52.7%)
  - 「学習活動の情報を得ることができている」 (52.4%)

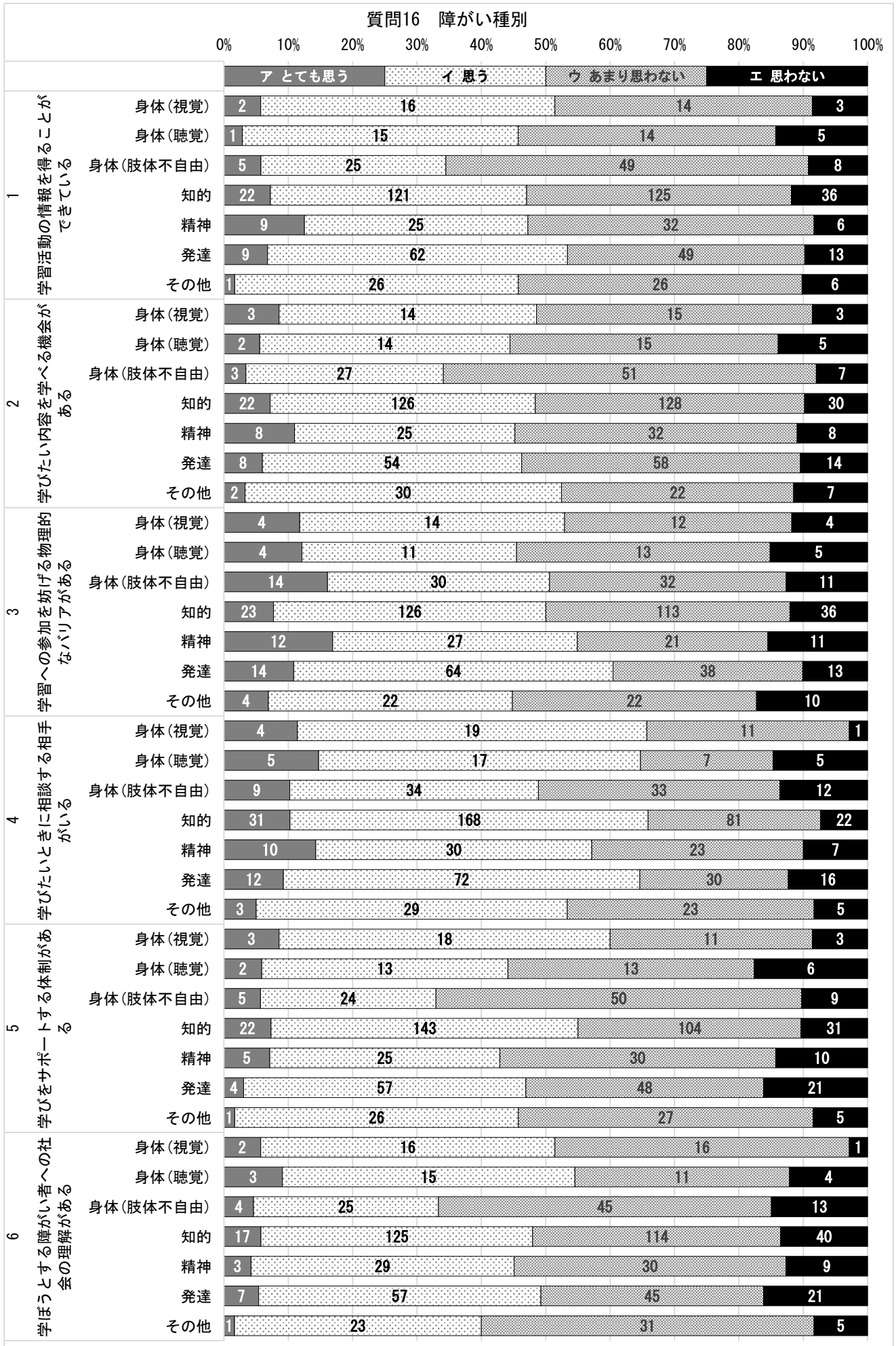
質問16 年代別

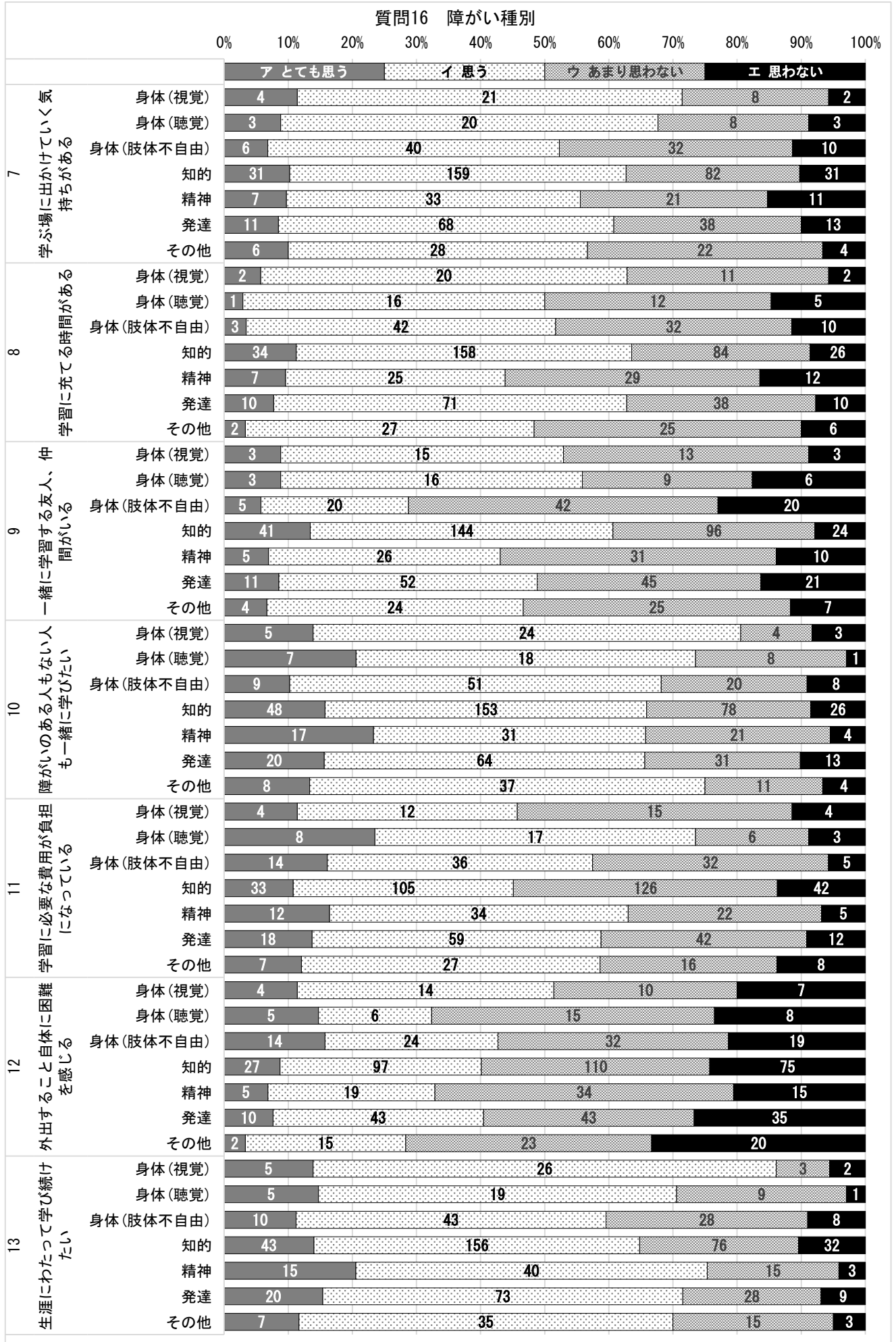
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%





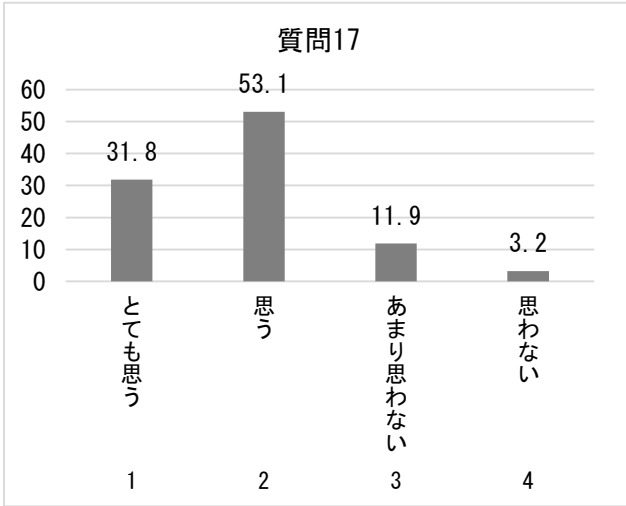






質問17 「共に生きる社会」の実現に向けて、障がい者の学習機会を充実させることは、重要な取組だと思いますか。ア～エから最もよくあてはまるものを1つ選んで「○」を記入してください。

項目	回答数
ア とても思う	187
イ 思う	312
ウ あまり思わない	70
エ 思わない	19



※グラフ中の値は、質問17に回答があった数に占める割合を示す。(単位%)

・学習機会充実の重要性について、全体の84.9%が「とても思う」「思う」と回答している。

